

教科・種目名 国語

項目	発行者名	
	2 東書	17 教出
使用上の留意点	別表1	<p>発達段階のめやすに照らして[B]段階の児童には1・2学年用の写真、挿絵を中心に、[C]段階の児童は1・2学年用を中心に、[D]段階の児童には、1～3学年用を中心に写真、挿絵、基礎編など部分的に使用することができる。</p> <p>新出漢字は、ページ下段の脚注にふりがな付きで記載している。1学年上では筆順も記載している。新出漢字は巻末に筆順と画数、読み方と使い方を単元ごとに記載している。小学校では学習しない読み方も記載している。</p>
	別表2	<p>写真や挿絵、図版を配置し、言葉のイメージや内容を視覚的、映像的に理解しやすいようにしている。</p> <p>各学年の児童の姿に合わせた子どものキャラクターを使用している。</p> <p>キャラクターの吹き出しで、発表の仕方を例示したり気づきを促したりしている。</p>
		<p>写真や挿絵、図版を配置し、言葉のイメージや内容を視覚的、映像的に理解しやすいようにしている。</p> <p>各学年の児童の姿に合わせた子どものキャラクターを使用している。</p> <p>キャラクターの吹き出しで、発表の仕方を例示したり気づきを促したりしている。</p>
		<p>巻頭に「国語学習の進め方」「言葉の力を集めよう」を記載し、国語の学習の基本的な考えかた、学んだ「言葉の力」の生かし方を記載している。</p> <p>巻頭に「ひろがる言葉」を記載し、どのような学びでどのような言葉の力をつけていくのかを記載している。</p>
	別表3・4	<p>表紙は自然や近未来的な環境と共に子ども達のイラストが描かれおり、巻頭の詩やイラストと併せて豊かな言語活動への期待や意欲を高める工夫をしている。</p> <p>表紙は町並みや自然、遺跡、施設などと共に子ども達のイラストが描かれており、巻頭のイラストと併せて豊かな言語活動への期待や意欲を高める工夫をしている。</p>
備考		

発行者名	
38 光村	
<p>発達段階のめやすに照らして[B]段階の児童には1・2学年用の写真、挿絵を中心に、[C]段階の児童は1・2学年用を中心に、[D]段階の児童には、1～3学年用を中心に写真、挿絵、基礎編など部分的に使用することができる。</p> <p>新出漢字は、ページ下段の脚注にふりがな付きで記載している。2学年下までは筆順を単元の終わりに記載。新出漢字は2学年下までは巻末に画数、読み方、使い方を単元ごとに記載している。3学年上からは巻末に画数、読み方、筆順、小学校では学習しない読み方を記載している。</p> <p>写真や挿絵、図版を配置し、言葉のイメージや内容を視覚的、映像的に理解しやすいようにしている。</p> <p>各学年の児童の姿に合わせた子どもやキャラクターを使用している。</p> <p>キャラクターの吹き出しで、発表の仕方を例示したり気づきを促したりしている。</p> <p>巻頭の「国語の学びを見わたそう」で、学びを深めていくための学習の進め方を記載している。</p> <p>表紙は動物や町並み自然などの絵と子ども達が活動する様子が描かれ、タイトルも記載されており、言語活動への期待や意欲を高める工夫をしている。</p>	

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (国語)

別表1

項目	2 東書
(1) A	
B	◇1・2学年用の写真・挿絵ページを中心に、部分的に使用できる。
C	◇1・2学年用を中心に、部分的に使用できる。
D	◇1・2・3学年用を中心に、部分的に使用できる。
(2) イ	<p>◇単元ごとに「見通す」「取り組む」「振り返る」の3ステップを記載している。</p> <p>◇作者からのメッセージ動画や資料・解説動画などの二次元コードを用意している。</p> <p>◇2学年以上の各巻頭に「言葉の力を集めよう」「国語の学習の進め方」を設け、年間を通じて「何を、どのように学ぶか」が見通せる。</p> <p>◇新出漢字は、脚注と巻末に単元ごとにまとめて記載している。</p> <p>◇単元と連動した二次元コード(全学年600箇所超)が掲載されており、Webにアクセスして「練習問題」「音声」「資料室」等の学習が可能である。</p>
その他	

別表2

項目	2 東書
(1) A	◇学習指導要領の「知識及び技能」に示された事項に重点をおき、学習や日常生活に生きて働く力として習得できるように6学年を通して系統的に配列している。
(2) イ	◇多様な分野から教材や題材を選定している。
ウ	<p>◇巻頭に詩を掲載している。</p> <p>◇単元の最初に育成すべき「言葉の力」を記載している。</p> <p>◇現代を生きる等身大の小学生を描いた物語を掲載している。</p> <p>◇6学年を通して580冊以上の図書を紹介している。</p>
その他	

別表3

項目	2 東書
(1) A	◇イラストや写真が豊富で、親しみを持てるように工夫している。
(2) イ	◇物語には主に挿絵、説明文には単元により写真や挿絵を使用している。
ウ	<p>◇大きなイラスト・図版を使用している。</p> <p>◇物語・説明文には脚注野線が示されており、一行ごとに点(・)を表示している。</p> <p>◇行数を「5 10 15」と表記している。</p> <p>◇文字が小さい箇所には、UDフォントを使用している。</p>
エ	◇第1学年第1教材は、児童の想像を膨らませる物語性のあるイラストによって構成されている。

別表4

項目	2 東書
(1) A	
(2) イ	◇「色覚の多様性に配慮し、専門家の協力のもと全ページにわたって色彩デザインを検討し、色だけで区別・判別する表現を避けるとともに、必要に応じて情報に加え、全ての児童が見やすい紙面を実現している」と記載している。
(3) ウ	◇各ページ白色が主で、カラーのページも鮮明で見やすい。
エ	◇長音・促音・拗音を、手拍子や記号(●)などの視覚化や動作化で表現している。
オ	<p>◇1・2学年では文節ごとにわかち書きを用い、語のまとまりを意識して改行している。</p> <p>◇B5判。</p> <p>◇1～4学年は上下巻、5・6学年は1冊である。</p> <p>◇再生紙、植物油インキを使用している。</p> <p>◇ページ削減・用紙の品質向上などを通して全体でおよそ4.2%の軽量化している。</p>

別表1

項目	17 教出
(1) A	
B	◇1・2学年用の写真・挿絵ページを中心に、部分的に使用できる。
C	◇1・2学年用を中心に、部分的に使用できる。
D	◇1・2・3学年用を中心に、部分的に使用できる。
(2) イ	<p>◇1学年下巻以上の各巻頭に「ひろがる言葉」を設け、年間を通じて「どのような学びで、どのような言葉の力をつけていくのか確かめることができる。</p> <p>◇新出漢字は、脚注と巻末に単元ごとにまとめて記載している。</p> <p>◇二次元コードが掲載されており、「写真」「動画」「資料」「ワークシート」「リンク」へアクセスできる。</p>
その他	

別表2

項目	17 教出
(1) A	
(2) ア	◇日常生活から題材を取り上げている。
イ	◇単元扉に「学習のめあて」、イラストや写真、いざないの言葉を記載している。
ウ	◇図書紹介のページが設けられ、各学年平均90冊を紹介している。
その他	

別表3

項目	17 教出
(1) A	◇イラストや写真が豊富で、親しみを持てるように工夫している。
(2) イ	◇挿絵や写真が十分に配置されている。
ウ	<p>◇行数を「5 10 15」と表記されている。</p> <p>◇UDフォントを使用している。</p>
エ	◇図表、写真などの資料は見やすくわかりやすい。

別表4

項目	17 教出
(1) A	
(2) イ	◇鮮明で見やすい。
(3) ウ	◇色刷りは適切である。
エ	◇低・中・高の発達段階に応じたイラストを用いている。
オ	◇2年生の上巻までは、文節ごとにわかち書きで表記している。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (国語)

別表1

項目	38 光村
(1) A	
ア B	◇1・2学年用の写真・挿絵ページを中心に、部分的に使用できる。
イ C	◇1・2学年用を中心に、部分的に使用できる。
ウ D	◇1・2・3学年用を中心に、部分的に使用できる。
(2) イ	<p>◇教科書全体を「単元」「小単元」「コラム」「特設単元」で構成している。</p> <p>◇巻頭の「国語の学びを見わたそう」で1年間の学びを見通すことができる。</p> <p>◇新出漢字は、脚注と巻末に単元ごとにまとめて記載している。</p> <p>◇単元と連動した二次元コンテンツ(6学年で200点以上収録)が掲載されており、実写動画、作例全文、資料動画・資料写真、音声、入門期言語用ワークシートなどで学習ができる。</p>
その他	

別表2

項目	38 光村
(1) A	◇「問いをもとう」の問いかけをきっかけに、自分がどんなことを考えていきたいのか、新たな問い
(2) イ	<p>◇単元の最初に「指導事項」と「言語活動」を組み合わせで端的に表示している。</p> <p>◇学習が一覧できるよう、「見通しをもとう」から「ふいりかえろう」までを見開きで構成している。</p> <p>◇「ユニバーサルデザインの教科書」について考えようでは、フレイミングが原則についてユニバーサルデザインを用いている。</p> <p>◇文字の習得や設問の立て方などについても、学習のユニバーサルデザインの観点で、小貫悟先生(明星大学教授、専門・LD、ADHD、高機能自閉症などへの支援技法の研究)の校閲を受けた。掲載されたこととして記載している。</p>
ウ	
その他	

別表3

項目	38 光村
(1) A	◇イラストや写真が豊富で、親しみを持てるように工夫している。
(2) イ	◇大きなイラスト・図版を使用している。
ウ	◇UDフォントを採用している。
エ	◇「たいせつ」など重要なポイントは、赤色など目につきやすい色で囲んでいる。

別表4

項目	38 光村
(1) A	◇市原恭代先生(工学院大学准教授、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構[CUDO]理事)に、全ての紙面・図版・イラストについて校閲を受けたと記載している。
(2) イ	◇写真と写真の間を開けて配置している。
(3) ウエ	◇低学年ではできるかぎり文節で行が切れるように文字数や字間を調整していると記載している。
オ	<p>◇B5判。</p> <p>◇1～4学年は上下巻、5・6学年は1冊である。</p> <p>◇エコマーク認定の植物油インキを使用している。</p> <p>◇できるだけ重量が軽く、色の裏写りが少ない用紙を開発し使用している。</p>

教科・種目名 書写

項目	発行者名	
	2 東書	17 教出
使用上の留意点	別表1 発達段階の目安に照らして [C] の段階の児童には1・2学年用を、[D] 段階の児童には3・4学年用を中心に写真・挿絵のページや動画を活用することで部分的に使用できる。 写真・挿絵・マーク・囲みや矢印を使って要点を解説している。 正しい姿勢や鉛筆の持ち方について、写真や挿絵に擬音語を併記し説明している。 二次元コードの活用により教科共通コンテンツを学年冒頭に掲載している。	発達段階の目安に照らして [C] の段階の児童には1・2学年用を、[D] 段階の児童には3・4学年用を中心に写真・挿絵のページや動画を活用することで部分的に使用できる。 写真・挿絵・マーク・囲みや矢印を使って要点を解説している。 正しい姿勢や鉛筆の持ち方について、写真や挿絵に擬音語を併記し説明している。 運動面に着目し、体幹を整えることで学びの姿勢につながるよう教材を設定している。
	別表2 学んだことを他の学習や生活で生かせるように掲載の仕方を工夫している。 キャラクターによるナビゲートにより、興味・関心を引き出すようにしている。 図解、イラスト、写真などの人物の人数や性別等極端な偏りがないように配慮している。	児童の発達に合った「言葉」を書くことで書き方の定着を図るようにしている。 国語で学習した教材を視写することで、豊かな言語感覚を養うようにしている。 キャラクターによるナビゲートにより、興味・関心を引き出すようにしている。 図解、イラスト、写真などの人物の人数や性別等極端な偏りがないように配慮している。
	別表3・4 題材に関連した写真や挿絵を使用し、UD フォントを使用している。 学年段階に応じた語彙数で、文章は、的確・簡潔で、分かりやすく表現し、表記や用語は統一している。 色覚の多様性に配慮し、誰もが見やすい紙面とレイアウトや色使いの工夫をしている。	題材に関連した写真や挿絵を使用し、UD フォントを使用している。 学年段階に応じた語彙数で、文章は、的確・簡潔で、分かりやすく表現し、表記や用語は統一している。 色覚の多様性に配慮し、誰もが見やすい紙面とレイアウトや色使いの工夫をしている。 ポイントとなる筆使いは拡大図及び中心線を入れた全体図で掲載し、配列や文字の大きさも工夫している。
備考		

発行者名
38 光村
発達段階の目安に照らして [C] の段階の児童には1・2学年用を、[D] 段階の児童には3・4学年用を中心に写真・挿絵のページや動画を活用することで部分的に使用できる。 写真・挿絵・マーク・囲みや矢印を使って要点を解説している。 正しい姿勢や鉛筆の持ち方について、写真や挿絵に擬音語を併記し説明している。 毛筆での学習を硬筆へ生かせるよう、毛筆学習の後には、教材内に必ず硬筆課題を設けている。
学習場面や日常に生かすページを各発達段階に応じて掲載している。 書写体操と整理体操を取り入れ、キャラクターが要点をヒント、注意事項を説明し、ナビゲートしている。
図解、イラスト、写真などの人物の人数や性別等極端な偏りがないように配慮している。
題材に関連した写真や挿絵を使用し、UD フォントを使用している。 学年段階に応じた語彙数で、文章は、的確・簡潔で、分かりやすく表現し、表記や用語は統一している。 色覚の多様性に配慮し、誰もが見やすい紙面とレイアウトや色使いの工夫をしている。 弱視の児童の負担軽減として、活字を大きく、読みやすい大きさの文字と書体で教材内容を損なわないようにしている。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (国語・書写)

別表1

項目	2 東書
(1) A	
(1) B	
(1) C	◇1・2学年用を中心に写真・挿絵のページや動画を活用することで部分的に使用できる。
(1) D	◇3・4学年用を中心に写真・挿絵のページや動画を活用することで部分的に使用できる。
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> ◇単元名と単元目標、学習の振り返りを記載。 ◇写真・挿絵・マークを使って要点を解説。 ◇図み、矢印など使用。 ◇導入の「書写の学び方」で学習の流れを確認。 ◇学習に集中しやすいように学習過程の提示をシンプルにし、使用する色も少なくしている。 ◇左利きの児童に対する配慮。持ち方を構え方を手を実際に重ねて確認できる。 ◇利き手にかかわらず学習しやすいように書き込み欄を上下や左右両方に配置。 ◇筆順を同色の色数字で表記。 ◇半紙大に広げることができる手本を掲載。 ◇各学年と前学年で学習する漢字一覧を巻末に掲示。 ◇系統的に整理した学習事項を発達段階を考慮し、端的に分かりやすく掲載。
その他	◇2・3学期制や複式学級への配慮

別表2

項目	2 東書
(1) A	【書写の学びを生活に生かす】
(2) ア	<ul style="list-style-type: none"> ◇生活に広げよう(教材) ◇文字といっしょに(コラム) ◇学びを生かそう(教材)
イ	<ul style="list-style-type: none"> ◇書写体操と運筆練習 ◇予想される誤字(字形)と整った字形を比較掲載。 ◇キャラクターが要点をヒント、注意事項を説明し、ナビゲート ◇低学年で水書シートがある。(1・2年)
ウ	<ul style="list-style-type: none"> ◇図解、イラスト、写真などの人物の人数や性別等極端な偏りがないように配慮。 ◇外国人児童など日本語指導の必要な児童にも配慮。
その他	

別表3

項目	2 東書
(1) A	<ul style="list-style-type: none"> ◇題材に関連した写真や挿絵を使用。 ◇吹き出しの背景色は淡い色を使用。
(2) イ	◇文意を理解しやすいように、文節で改行。
ウ	<ul style="list-style-type: none"> ◇教科書体以外、振り仮名などにUDフォントを使用。 ◇学年段階に応じた語彙数。 ◇文章は、的確・簡潔で、学年段階に応じて分かりやすい表現。表記や用語は統一した基準。 ◇使用する漢字は原則、当該学年以下、当該学年の漢字には振り仮名を付けて掲載。
エ	◇色覚の多様性に配慮し、専門家による検証を実施。誰もが見やすい紙面と色の工夫。

別表4

項目	2 東書
(1) A	◇学習に集中し、紙面の大事な情報に注目できるよう、レイアウトや色使いを工夫。
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> ◇硬筆文字は、印刷の濃度や色味を調整しより本物に近く、見やすいものになるように工夫。 ◇印刷は、鮮明で正確。 ◇背景は、白が基本。
ウ	◇手書きの硬筆文字の字形や書き方に準拠し、国語・書写の学習に適した教科書体を独自に開発。
エ	
オ	<ul style="list-style-type: none"> ◇用紙は、鉛筆で書き込みがしやすく、十分な強度をもちながら軽量なものを使用。 ◇教紙は、見開きの状態を維持しやすい耐久性を高める加工、針金縫いで製本。

別表1

項目	17 教出
(1) A	
(1) B	
(1) C	◇1・2学年用を中心に写真・挿絵のページや動画を活用することで部分的に使用できる。
(1) D	◇3・4学年用を中心に写真・挿絵のページや動画を活用することで部分的に使用できる。
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> ◇単元名と単元目標、学習の振り返りを記載。 ◇写真・挿絵・マークを使って要点を解説。(発達段階に応じて提示の仕方を工夫) ◇図み、矢印など使用。 ◇目次では当該学年の学習内容の理解。各学年巻末では、学習の振り返り。 ◇情報量が多い。 ◇「適切に道筆する能力」を付けるヒントを作業療法の視点から運動面に着目し、体幹を鍛えることで学びの姿勢につながるよう教材を設定。 ◇左利きの児童に対する配慮。(鉛筆の持ち方、用具の置き方を掲載) ◇「自己評価欄」「書き込み欄」の活用により児童自らが主体的に学習できるよう工夫。 ◇筆順を同色の色数字で表記。 ◇半紙大に広げることができる手本を掲載。 ◇各学年と前学年で学習する漢字一覧を巻末に掲示。 ◇習得した書写の力を教科横断的な学習活動や日常生活に活用できるよう掲載。 ◇運筆リズムを音声や視覚で掲載。音声やキャラクターの動作で体感しながら学ぶ工夫。 ◇自らの成長に気付くよう「試し書き」「まとも書き」の欄を作成。 ◇文章表現は平易で簡潔に漢字方法が伝わるように具体的な言葉で提示。
その他	◇各学年1冊

別表2

項目	17 教出
(1) A	◇児童の発達に合った「言葉」を書くことで書き方の定着を図る。
(2) ア	<ul style="list-style-type: none"> ◇ねらいを焦点化して扱うことで言語活動に生かす工夫。 ◇国語の教材を参考して視写。内容をより深く味わうとともに豊かな言語感覚を養う工夫。 ◇漢字の字源、語彙、類義、反義などを扱い、文字文化の観点から充実させる工夫。 ◇各教科でバランスよく教材化し、書写の力を学習活動の「どの場面でも」生かせるのが掲載。 ◇手紙・はがきを書く活動を各学年の学習活動に合わせて系統的に掲載。
イ	<ul style="list-style-type: none"> ◇体幹トレーニングと運筆練習。 ◇書き順や正しい文字を重点的に扱う配慮。 ◇キャラクターが要点をヒント、注意事項を説明し、ナビゲートをする。 ◇水書用シートを2年巻末に添付。1年と2年の指導を継続して実施。ウォーミングアップの充実。裏面には水書用紙の使い方、運筆練習の例、水書用紙の持ち方を掲載。 ◇鉛筆の持ち方の含意でウォーミングアップを行う。(まなびリンクの活用)
ウ	<ul style="list-style-type: none"> ◇教材の児童名、キャラクターの男女比に配慮。 ◇多様な文字の文化に関心をもちよう工夫。 ◇まなびリンク:水書・毛筆学習の始まる学年に、興味・関心を高めるアニメーションを掲載。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◇人権に関する「言葉」を書くことで意識が高まる教材を各学年で掲載。 ◇小中連携を意識した掲載。行書について掲載。

別表3

項目	17 教出
(1) A	<ul style="list-style-type: none"> ◇題材に関連した写真や挿絵を使用。 ◇吹き出しの背景色はまろやかな色を使用。
(2) イ	◇文意を理解しやすいように、文節で改行。
ウ	<ul style="list-style-type: none"> ◇書写的な観点から見て、手書き文字に近い形で学習できるUDフォントを使用。 ◇学年段階に応じた語彙数。 ◇文章は、的確・簡潔で、学年段階に応じた表現。表記や用語は統一した基準を設ける。 ◇使用する漢字は原則として当該学年以下、当該学年の漢字には振り仮名を付けて掲載。
エ	◇色覚等の特性をふまえた判読しやすい配色を工夫。

別表4

項目	17 教出
(1) A	◇学習に集中し、紙面の大事な情報に注目できるよう、レイアウトや色使いを工夫。
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> ◇毛筆・硬筆の書き文字や、図、写真などの印刷は、鮮明で目にやさしいものになるよう工夫。 ◇毛筆文字の墨色の鮮やかさや鉛筆文字の特色がよく表れる印刷技術を使用。 ◇背景は、白が基本。
ウ	◇ポイントとなる事項は拡大図で掲載。
エ	<ul style="list-style-type: none"> ◇中心線を入れた全体図を掲載し、配列や文字の大きさも理解可能になるよう工夫。 ◇筆圧を3段階で示し、視覚的に理解できるよう工夫。 ◇児童に分かりやすいように「たとえ」の図版。視覚の向きは時計の10時半と明示し説明。 ◇上下の中心点をつなぐと文字の中心が分かるよう工夫。
オ	<ul style="list-style-type: none"> ◇用紙は、鉛筆で書き込みがしやすく、十分な強度をもちながら軽量なものを使用。 ◇表紙は、見開きの状態を維持しやすい紙に撥水コーティング加工、針金縫いで製本。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (国語・書写)

別表1

項目	38 光村
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> ◇1・2学年用を中心に写真・挿絵のページや動画を活用することで部分的に使用できる。 ◇3・4学年用を中心に写真・挿絵のページや動画を活用することで部分的に使用できる。
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> ◇単元名と単元目標、学習の振り返りを記載。 ◇写真・挿絵・マークを使って要点を解説。 ◇囲み、矢印など使用。 ◇硬筆・毛筆学習の入門期における基本を掲載。 ◇2年生以上の全教材に、他の字を書く時も活用できる基礎・基本を明確に提示。 ◇左利きの児童に対する配慮。(左手で書く時の手や用具の位置を示した写真を掲載。二次元コードから読みとれるコンテンツとして、左利き児童の教科書紙面や動画を準備。) ◇筆順を同色の色数字で表記 ◇半紙大に広げることができる手本を掲載 ◇各学年と前学年で学習する漢字一覧を巻末に掲示 ◇毛筆での学習を硬筆へ生かせるよう、毛筆学習の後には、教材内に必ず硬筆課題を掲載。 ◇書写での学習を日常へ生かせるよう、6年には、「書写ブック」を設置。 ◇1年のひらがな教材では、「とめ」「はね」「はらい」などの筆使いを擬音語・擬態語で提示。 ◇二次元コード…1年:18 2年:16 3年:34 4年:28 5年:27 6年:25 計151コンテンツ。 ◇横書きの表記の約束と拗音、撥音、句読点、数字の表記の仕方について掲載。 ◇書くことの基礎作りについて掲載。筆使いの基本では、擬音語表現を併記。1学年は、挿絵を中心。2学年以上は写真を中心。水書用紙の活用。硬筆での書字動作につなげる工夫。 ◇毛筆を使った学習については、二次元コードの活用。手順や動きの確認が繰り返し可能。 ◇他教科との関連をリンクマークで掲載。
その他	

別表2

項目	38 光村
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> ◇全学年に日常の言葉や物語、ことわざ、俳句、詩などを書いて味わうことができるよう工夫。 ◇学習場面や日常に生かすページを各発達段階に応じて掲載。
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> ◇書写体操と整理体操。 ◇キャラクターが要点をヒント、注意事項を説明し、ナビゲート。 ◇水書用紙1年と2年に収録。低学年の指導を継続して行えるよう工夫。
ウ	<ul style="list-style-type: none"> ◇図解、イラスト、写真などの人物の人数や性別等種々な偏りがないように配慮。 ◇外国人児童など日本語指導の必要な児童にも配慮。
その他	

別表3

項目	38 光村
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> ◇題材に関連した写真や挿絵を使用。 ◇吹き出しの背景色は淡い色を使用。
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> ◇文意を理解しやすいように、文節で改行。
ウ	<ul style="list-style-type: none"> ◇学年段階に応じた語彙数 ◇発達段階に応じて分かりやすい文章で表現。表記や用語は学年で段階を設けつつ統一。
エ	<ul style="list-style-type: none"> ◇色覚の多様性に配慮。専門家による検証を実施。紙面と色の組合せに配慮。

別表4

項目	38 光村
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> ◇学習に集中し、紙面の大事な情報に着目できるよう、レイアウトや色使いを工夫。
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> ◇硬筆文字は、印刷の濃度や色味を調整。より本物に近く、見やすいものになるように工夫。 ◇印刷は、鮮明で正確。 ◇背景は、白が基本。
(3) ウ	<ul style="list-style-type: none"> ◇手書きの硬筆文字の字形や書き方に準拠し、国語・書写の学習に適した教科書体を独自に開発。
エ	<ul style="list-style-type: none"> ◇鮮明で正確な色調で印刷。 ◇製本は、針金を3か所に施した中綴じ、長期の使用に耐えられるよう配慮。
オ	<ul style="list-style-type: none"> ◇書き込み欄の充実。強度が高く、鉛筆で書きやすい上、文字やイラスト、写真が見やすく、裏写りの少ない紙質を採用。 ◇表紙は、防水効果があり、撥水コーティング加工のものを使用。

教科・種目名 社会

項目	発行者名	
	2 東書	17 教出
使用上の留意点	<p>発達段階のめやすに照らして、[C] [D] 段階の児童に部分的に使用できる。</p> <p>写真や資料には通し番号がついている。</p> <p>単元ごとに「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」と学習の手順ごとにまとめられている。</p> <p>単元ごとに学習を促す「まなびのポイント」「学習問題」が示されている。</p> <p>重要語句は「ことば」と別枠で解説があり、漢字にはふりがなが振ってある。</p>	<p>発達段階のめやすに照らして、[C] [D] 段階の児童に部分的に使用できる。</p> <p>写真や資料には通しカナがついている。</p> <p>単元ごとに「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」と学習の手順ごとにまとめられ、爪見出し形式で表示されている。</p> <p>単元ごとに学習を促す「まなびのてびき」「みんなでつくった学習問題」が示されている。</p> <p>重要語句は「キーワード」として解説されており、漢字にはふりがなが振ってある。</p>
	<p>3・4年ではどの地域に見られる建物や施設等の写真を掲載している</p> <p>6年では現代の文化に共通する昔の文化を現代の写真と合わせて掲載している。</p> <p>学習課題に対する気付きや考えを深めるセリフをアニメキャラクターが発している。</p> <p>二次元コードから web コンテンツにアクセスできる。</p>	<p>3・4年ではどの地域に見られる建物や施設等の写真を掲載している</p> <p>6年では現代の文化に共通する昔の文化を現代の写真と合わせて掲載している。</p> <p>学習課題に対する気付きや考えを深めるキャラクター会話形式で登場する。</p> <p>二次元コードから web コンテンツにアクセスできる。</p>
	<p>別表 3・4</p> <p>各教材の見開きには写真や資料を大きく掲載している。</p> <p>6年歴史編では、その時代が歴史全体のどの位置にあるか爪見出し形式の年表で表記している。</p>	<p>各教材の見開きには写真や資料を大きく掲載している。</p>
備考	<p>5年は二冊（上・下）で編成されている。</p> <p>6年は「政治・国際編」と「歴史編」の二冊で編成されている。</p>	

発行者名
116 日文
<p>発達段階のめやすに照らして、[C] [D] 段階の児童に部分的に使用できる。</p> <p>写真や資料には通し番号がついている。</p> <p>単元ごとに「問題を発見する力を身につけよう」「問題を追究・解決する力を身につけよう」「問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力を身につけよう」と学習の手順ごとにまとめられ、各ページ下段に表示されている。</p> <p>単元ごとに学習を促す「見方・考え方」が示されている。</p> <p>重要語句は「キーワード」として解説され、漢字にはふりがなが振ってある。</p>
<p>3・4年ではどの地域に見られる建物や施設等の写真を掲載している</p> <p>6年では現代の文化に共通する昔の文化を現代の写真と合わせて掲載している。</p> <p>学習課題に対する気付きや考えを深めるキャラクター会話形式で登場する。</p> <p>二次元コードから web コンテンツにアクセスできる。</p>
<p>各教材の見開きには写真や資料を大きく掲載している。</p>

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (社会)

別表1

項目	2 東書
(1) ア	<p>A</p> <p>B</p> <p>C ◇写真や挿絵、図表などの資料を中心に部分的に使用できる(3・4年)。</p> <p>D ◇写真や挿絵、図表などの資料を中心に部分的に使用できる。</p>
(2) イ	<p>◇本文中の重要語句は太字で示され、欄外に説明されている(6年)。</p> <p>◇関係者の名前と顔写真とともに、当事者から詳しい解説がなされている。</p> <p>◇地域の特性に合わせて選択課題を設けている(5年)。</p> <p>◇まとめのページでは、まとめ方の例示があり、空欄に直接書き込んで、まとめが完成するようになっている。</p> <p>◇「ひろげる」としてさらに調べてみたいことなど発展的な学習が掲載されている。</p>
その他	SDGsに関連させている

別表2

項目	2 東書
(1) ア	<p>◇どの地域でも見られそうな建物や施設などの写真を掲載している(3・4年)</p> <p>◇地域の特性に合わせて選択課題を設けている(5年)。</p>
(2) イ	<p>◇教材の導入で小学生のキャラクターが会話形式で学習のポイントや課題を投げかけている。</p>
ウ	<p>◇二次元コードをタブレット型端末で読み取ってワークシートや教材へアクセスできる。</p>
その他	<p>◇福岡県福岡市が多く取り上げている(3年)。</p> <p>◇5・6年は二冊で構成されている。</p> <p>◇全国の遺跡などを取り上げている(6年)。</p>

別表3

項目	2 東書
(1) ア	<p>◇地図は手書き風のイラストで掲載している(3年)。</p>
(2) イ	<p>◇各図表や写真には解説がある。</p>
ウ	<p>◇3年全140P、4年全168P、5年上全124P 下128、6年歴史編全160P、政治・国際編全112P</p>
エ	<p>◇写真や資料に通し番号を付けている。</p>

別表4

項目	東京書籍
(1) ア	<p>◇色覚特性に配慮したデザイン。</p>
(2) ウ	<p>◇難しい漢字によみがな、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>
エ	<p>◇軽量の紙を使用しつつ、表面は一定の厚みのあるコーティングされた用紙をつかってあり堅ろうである、ページ送りもスムーズである。</p>

別表1

項目	17 教出
(1) ア	<p>A</p> <p>B</p> <p>C ◇写真や挿絵、図表などの資料を中心に部分的に使用できる(3・4年)。</p> <p>D ◇写真や挿絵、図表などの資料を中心に部分的に使用できる。</p>
(2) イ	<p>◇本文中の重要語句は太字で示され、「キーワード」として欄外に示されたり説明されたりするものがある(6年)。</p> <p>◇関係者の名前と顔写真とともに、当事者から詳しい解説がなされている。</p> <p>◇地域の特性に合わせて選択課題を設けている(5年)。</p> <p>◇まとめのページでは、まとめ方の例示があり、空欄に直接書き込んで、まとめが完成するようになっている。</p> <p>◇「資料」としてさらに調べてみたいことなど発展的な学習が掲載されている。</p>
その他	SDGsに関連させている

別表2

項目	17 教出
(1) ア	<p>◇どの地域でも見られそうな建物や施設などの写真を掲載している(3・4年)</p> <p>◇地域の特性に合わせて選択課題を設けている(5年)。</p>
(2) イ	<p>◇教材の導入やまとめで小学生のキャラクターが会話形式で学習のポイントや課題を投げかけている。</p>
ウ	<p>◇二次元コードをタブレット型端末で読み取ってワークシートや教材へアクセスできる。</p>
その他	<p>◇神奈川県横浜市が多く取り上げている(3年)。</p> <p>◇全国の遺跡などを取り上げている、「戦争と人々の暮らし」で使用されている写真はカラー写真に復元されている(6年)。</p>

別表3

項目	教育出版
(1) ア	<p>◇地図は手書き風のイラストで掲載している(3年)。</p>
(2) イ	<p>◇各図表や写真には解説がある。</p>
ウ	<p>◇3年全176P、4年全212P、5年全260P、6年全296P</p>
エ	<p>◇写真や資料に通し番号を付けている。</p>

別表4

項目	17 教出
(1) ア	<p>◇色覚特性に配慮したデザイン。</p>
(2) ウ	<p>◇難しい漢字によみがなが、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>
エ	<p>◇軽量の紙を使用しつつ、表面は一定の厚みのあるコーティングされた用紙をつかってあり堅ろうである、ページ送りもスムーズである。</p>

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (社会)

別表1

項目	116 日文
(1) A	
ア B	
イ C	◇写真や挿絵、図表などの資料を中心に部分的に使用できる(3・4年)。
ウ D	◇写真や挿絵、図表などの資料を中心に部分的に使用できる。
(2) イ	◇本文中の重要語句は太字で示され、「キーワード」として欄外に示されたり説明されたりするものがある(6年)。 ◇関係者の名前と顔写真とともに、当事者から詳しい解説がなされている。 ◇地域の特性に合わせて選択課題を設けている(5年)。 ◇まとめのページでは、まとめ方の例示がある。 ◇「未来につなげる」としてさらに調べてみたいことなど発展的な学習が掲載されている。
その他	◇SDGsに関連させている。

別表2

項目	116 日文
(1) ア	◇どの地域でも見られそうな建物や施設などの写真を掲載している(3・4年)。 ◇地域の特性に合わせて選択課題を設けている(5年)。
(2) イ	◇教材の導入やまとめで小学生のキャラクターが会話形式で学習のポイントや課題を投げかけている。
ウ	◇二次元コードをタブレット型端末で読み取ってワークシートや教材へアクセスできる。
その他	◇兵庫県姫路市が多く取り上げている(3年)。 ◇全国の遺跡などを取り上げている(6年)。

別表3

項目	116 日文
(1) ア	◇地図は手書き風のイラストで掲載している(3年)。
(2) イ	◇各図表や写真には解説がある。
ウ	◇3年全166P、4年全212P、5年全288P、6年全282P
エ	◇写真や資料に通し番号をつけている。

別表4

項目	116 日文
(1) ア	
(2) イ	◇色覚特性に配慮したデザイン。
(3) ウ	◇難しい漢字にはよみがなが振られ、ユニバーサルデザインフォントを使用している。
エ	
オ	◇軽量の紙を使用しつつ、表面は一定の厚みのあるコーティングされた用紙をつかってあり堅ろうである、ページ送りもスムーズである。

教科・種目名 地図

項目	発行者名	
	2 東書	46 帝国
使用上の留意点	別表1 発達段階のめやすに照らして、〔C〕の児童にはイラストや写真、図を手掛かりに使用、〔D〕の児童には全般的に使用できる。 地図ページの各地の主な産物、資料ページの各地の特徴はイラストや写真を用いて説明している。	発達段階のめやすに照らして、〔C〕の児童にはイラストや写真、図を手掛かりに使用、〔D〕の児童には全般的に使用できる。 地図ページの各地の主な産物、資料ページの各地の特徴はイラストや写真を用いて説明している。
	別表2 各ページに二次元コードがあり、タブレット端末で映像や資料を見ることができる。 各ページにレベル別の問題を掲載している。 巻末見開きページに、昭和から令和の主な自然災害をまとめて掲載している。 地図帳の使い方、土地の特徴などの解説、学習ポイントについての問いかけやアドバイスなどをキャラクターによる吹き出しで表示している。	各ページに二次元コードがあり、タブレット端末で映像や資料を見ることができる。 各ページに様々な問題を掲載している。 巻末に世界の SDGs についてまとめられている。 地図帳の使い方、土地の特徴などの解説、学習ポイントについての問いかけやアドバイスなどをキャラクターによる吹き出しで表示している。
	別表3・4 漢字はふりがながついている。 ユニバーサルデザインフォントが使用されている。 地名や特産物などの文字に縁取りがされている。	漢字はふりがながついている。 ユニバーサルデザインフォントが使用されている。
	備考 サイズはA4判である。つやありの上質紙を使用している。	サイズはA4判である。つや消しの上質紙を使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (社会(地図))

別表1

項目	2 東書
(1) A	
ア B	
C	◇イラストや写真、図を中心に使用できる。
D	◇使用できる。
(2) イ	◇学習ポイントについての問いかけやアドバイスをキャラクターによる吹き出しで掲載している。 ◇「ホップ・ステップ・マップでジャンプ」して作業と問いの問題を掲載している。また二次元コンテンツ内に「がんばりシート」を掲載している。 ◇縮尺を「地図のものさし」を使い、実測と実際の距離を表示している。 ◇地図の各ページには、日本全体図のどの位置かを示す図(31mm×31mm程度)を掲載している。
その他	

別表2

項目	2 東書
(1) A	◇各地の主な産物などをイラストで表示している。 ◇京都市、奈良市、斑鳩町は詳細な地図のページがある。
(2) イ	◇資料ページは、写真やイラストを主に使用している。また特徴を比較したり意識したりできるように図や絵を配置している。
ウ	◇先生と小学生4人、博士、動物などのキャラクターがナビゲートしている。
その他	

別表3

項目	2 東書
(1) A	◇各ページにイラストや写真が豊富に掲載されている。
(2) イ	◇世界のページには動物や料理などを写真やイラストで紹介している。 ◇地図の縮尺を物差しの絵で表示している。
ウ	◇総ページ数は102ページ。 ◇折り込みは3枚。
エ	◇「日本の自然」「日本の産業」「日本の貿易」など各ページに図表や写真などの資料が掲載されている。

別表4

項目	2 東書
(1) A	◇色覚特性に適應するようにデザインしていると表記している。
(2) イ	◇環境に配慮した用紙、植物性インキを使用している。
(3) ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。
エ	◇漢字はふりがながついている。
オ	◇サイズはA4判である。つやありの上質紙を使用している。 ◇製本は堅ろうである。

別表1

項目	46 帝国
(1) A	
ア B	
C	◇イラストや写真、図を中心に使用できる。
D	◇使用できる。
(2) イ	◇学習ポイントについての問いかけやアドバイスをキャラクターによる吹き出しで掲載している。 ◇キャラクターはすずめの先生と2人の小学生である。 ◇「地図マスターへの道」として練習問題を掲載している。 ◇縮尺を「地図のものさし」を使い実測と実際の距離を表示している。 ◇日本地図の各ページには、日本全体図のどの位置かを示す図(27mm×27mm)を掲載している。
その他	

別表2

項目	46 帝国
(1) A	◇各地の主な産物をイラストで示している。 ◇大阪、奈良、京都、東京等各地の主要都市は詳細に表示している。
(2) イ	◇奈良や京都のページには、観光地にもなっている歴史的建造物を表示している。 ◇東京のページには江戸時代の歴史に関わるものを表示している。
ウ	◇資料ページにはキャラクターがナビゲートしている。
その他	

別表3

項目	46 帝国
(1) A	◇各ページにイラストによる解説を掲載している。
(2) イ	◇世界のページには「世界の子どもたち」と「世界のSDGs」の写真2枚が掲載されている。 ◇自然災害と防災のページには代表的な災害の写真が掲載されている。 ◇地図の縮尺を物差しの絵で表示している。
ウ	◇総ページ数は132ページ。 ◇折り込みページは3枚。
エ	◇「日本の産業のようす」や「日本と世界の結びつき」など、各ページに図表や写真などの資料が掲載されている。

別表4

項目	46 帝国
(1) A	◇ユニバーサルデザインの観点から、色覚特性に配慮した色づかいをしていると表記している。
(2) イ	◇再生紙、植物性インキを使用している。
(3) ウ	◇漢字はすべてふりがながついている。
エ	◇文字を色分けしたり、太字や斜字を使用したりしている。
オ	◇サイズはA4判である。つや消しの上質紙を使用している。 ◇製本は堅ろうである。

教科・種目名 算数

項目	発行者名		
	2 東叢	4 大日本	11 学図
使用上の留意点	別表1 発達段階のめやすに照らし合わせて、[C]の児童には、部分的に使用できる。[D]の児童には各学年用を中心に部分的に使用できる。 学習の順序として、例題→問題→演習の順番で段階的に構成している。 重要箇所は太字表記や、囲みがある。マークによるポイントで整理している。	発達段階のめやすに照らし、[C]の児童は第1学年用を中心に部分的に使用できる。[D]の児童には各学年用を部分的に使用できる。 学習の順序として、例題→問題→演習の順番で段階的に構成している。 重要箇所は太字表記や、囲みがある。マークによるポイントで整理している。	発達段階のめやすに照らし、[C]の児童は第1学年用を中心に部分的に使用できる。[D]の児童には各学年用を部分的に使用できる。 学習の順序として、例題→問題→演習の順番で段階的に構成されている。 重要箇所は橙の背景に太字表記や、囲みがある。マークによるポイントで整理している。
	別表2 数と計算の操作活動は、動物や食べ物などの身近なものの絵を使用している。半具体物として数図ブロックを使用している。 量や図形の学習は、身近な具体物を使って、興味を持つように工夫している。さんかくやしかくの形をしらべようでは、巻末の色板を切り取って使用できる。 お金に関する学習は、買い物の場面を設定して第2学年上巻から取り扱っている。 時計の学習は、第1学年から取り扱っている。実生活と関連させ、理解しやすいように工夫している。	数と計算の操作活動は、動物や食べ物などの絵を使用している。半具体物として、おはじや数図ブロックなどを使用している。 量や図形の学習は、お菓子の箱やジュースの缶など身近な具体物を使って興味を持つように工夫している。「三角形と四角形」では、巻末の色板を切り取って使用できる。また、教科書に直接書き込める工夫がある。 お金に関する学習は、おやつを買うなどの問題として、第2学年から取り扱い、第1学年では10より大きいかずや「おうちでさんすう」でも取り上げている。 時計の学習は、第1学年から取り扱っており、学校生活の場面と関連させ、理解しやすいように工夫している。第2学年では「時こくと時間」で、24時間表記について取り上げている。	数と計算の操作活動は、動物や食べ物、文房具などの絵を使用している。半具体物として数図ブロックを使用している。 量や図形の学習は、水や文房具、お菓子の箱などの身近な具体物を使って興味を持つように工夫している。「かたち」では色板を切り取って使用できる。また、直接教科書に書き込める工夫がある。 お金に関する学習は、おやつや文房具を買うなどの問題として、第2学年上巻から取り扱っている。 時計の学習は、第1学年から取り扱っており、学校生活や生活場面と関連させ、理解しやすいように工夫している。

発行者名		
17 教出	61 啓林館	116 日文
発達段階のめやすに照らし、[C]の児童は第1学年用を中心に部分的に使用できる。[D]の児童には各学年用を部分的に使用できる。 学習の順序として、例題→問題→演習の順番で段階的に構成している。 重要箇所は橙の背景に太字表記や、囲みがある。マークによるポイントで整理している。	発達段階のめやすに照らし合わせて、[C]の児童には、部分的に使用できる。[D]の児童には各学年用を中心に部分的に使用できる。 学習の順序として、例題→問題→演習の順番で段階的に構成されている。 重要箇所は太字表記や、囲みがある。マークによるポイントで整理している。	発達段階のめやすに照らし、[C]の児童は第1学年用を中心に部分的に使用できる。[D]の児童には各学年用を部分的に使用できる。 学習の順序として、例題→問題→演習の順番で段階的に構成されている。 重要箇所は橙の背景に太字表記や、囲みがある。マークによるポイントで整理している。
数と計算の操作活動は、動物や食べ物、学校にある道具などの絵を使用している。半具体物として、赤と青のおはじや数図ブロックなどを使用している。 量や図形の学習は、お菓子の箱やボールなど身近な具体物を使って興味を持つように工夫している。「三角形と四角形」では、巻末のタングラムを切り取って使用できる。また、教科書に直接書き込める工夫がある。 お金に関する学習は、文房具やおやつを買うなどの問題として、第2学年上巻から取り扱っている。 時計の学習は、第1学年から取り扱っており、学校生活の場面と関連させ、理解しやすいように工夫している。第2学年では「時こくと時間」で、24時間表記について取り上げている。	数と計算の操作活動は、動物や食べ物などの身近なものの絵を使用している。半具体物として数図ブロックを使用している。 量や図形の学習は、身近な具体物を使って、興味を持つように工夫している。三角形と四角形では、巻末の色板を切り取って使用できる。 お金に関する学習は、「大きいかず」で第1学年1巻から取り扱っている。 時計の学習は、第1学年から取り扱っており、実生活と関連させ、理解しやすいように工夫している。	数と計算の操作活動は、動物や食べ物、文房具などの絵を使用している。半具体物として数図ブロックを使用している。 量や図形の学習は、水や文房具、お菓子の箱などの身近な具体物を使って興味を持つように工夫している。「かたち」では色板を切り取って使用できる。また、直接教科書に書き込める工夫がある。 お金に関する学習は、おやつや文房具を買うなどの問題として、第2学年上巻から取り扱っている。 時計の学習は、第1学年から取り扱っており、学校生活や生活場面と関連させ、理解しやすいように工夫している。

項目	発行者名		
	2 東書	4 大日本	11 学図
使用上の留意点	<p>キャラクターによる発問やヒントがある。</p> <p>二次元コードを用いた動画が豊富で、児童の理解を深めることができる。</p> <p>児童の興味関心に応じて、二次元コードを用いて類題や、発展問題に取り組むことができる。</p>	<p>キャラクターによる発問やヒントがある。イラストで示すことで理解が深まるように工夫している。</p> <p>けいさんカードゲームを取り扱い、遊びを通して数に興味・関心を持つように工夫している。</p> <p>各ページに二次元コードが掲載され、授業で活用できるようになっている。</p>	<p>キャラクターによる発問やヒントがある。練習や復習でゲームなどを取り扱い、楽しく学習できるように工夫している。</p> <p>すごろくゲームやけいさんカードゲーム、九九ビンゴゲームを取り扱い、遊びを通して数に興味を持つように工夫している。</p> <p>プログラミングの考え方にふれられるページを取り扱い、興味関心を持つように工夫している。</p> <p>二次元コードが掲載され、授業で活用したり学習の助けとして活用したりできるようになっている。</p>
	別表3・4	別表3・4	別表3・4
備考			

発行者名		
17 教出	61 啓林館	116 日文
<p>キャラクターによる発問やヒントがある。イラストで示すことで理解が深まるように工夫している。</p> <p>すごろくゲームや九九ジグソーパズルを取り扱い、遊びを通して数に興味・関心を持つように工夫している。</p> <p>背表紙に二次元コードが掲載され、授業で活用できるようになっている。</p>	<p>キャラクターによる発問やヒントがある。</p> <p>ほとんどの主問題に解説動画が利用でき、児童の興味関心に応じて学習ができる。</p> <p>児童の興味関心に応じて、二次元コードを用いて類題や、発展問題に取り組むことができる。</p>	<p>キャラクターによる発問やヒントがある。練習や復習でゲームなどを取り扱い、楽しく学習できるように工夫している。</p> <p>すごろくゲームやけいさんカードゲーム、九九ビンゴゲームを取り扱い、遊びを通して数に興味を持つように工夫している。</p> <p>プログラミングの考え方にふれられるページを取り扱い、興味関心をもつように工夫している。</p> <p>二次元コードが掲載され、授業で活用したり学習の助けとして活用したりできるようになっている。</p>
<p>薄色で柔らかな色調である。</p> <p>文字は見やすいユニバーサルデザインフォントを使っている。</p> <p>手掛かりや例題の囲みなどの背景色をカラーにするなどの色分けを使っている。</p>	<p>薄色で柔らかな色調である。</p> <p>ユニバーサルデザインに配慮した文字、色を使用している。</p> <p>価値付けたい数学的な見方・考え方にマーカで強調している。</p>	<p>薄色で柔らかな色調である。</p> <p>文字は見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使っている。</p> <p>手掛かりや例題の囲みなどの背景色や囲み線をカラーにするなどの色分けを使っている。</p>

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (算数)

別表1

項目	2 東書
(1) A	
ア B	
C	◇第1学年用を中心に部分的に使用できる。
D	◇各学年部分的に使用できる。
(2) イ	◇例題→問題→演習の順 ◇2学年以上の上巻の巻頭に「学びのとりば」を掲載し、学び方やノートの作り方などを解説。 ◇2学年以上は巻末に「ふりかえりコーナー」を掲載し、これまでの学習を振り返ることができる。 ◇2学年以上は下巻の巻末に「ほじゅうのもんだい」「おもしろもんだいにチャレンジ」を掲載。 ◇2学年以上は、目次に前後の関連単元を標記。
その他	

別表2

項目	2 東書
(1) A	◇実生活に関する例題の提示。 ◇「考える力をのばそう」「算数で読みとこう」などを掲載。
(2) イ	◇実生活に関する写真や絵。 ◇食べ物や動物などの絵の使用。 ◇カードゲーム等
ウ	◇男女の児童のキャラクター ◇巻末に切り取って使用するページを掲載。 ◇植物のキャラクターで考え方を整理。
その他	◇二次元コードを掲載。 ◇4学年からプログラミングを体験しようを掲載。

別表3

項目	2 東書
(1) A	◇各ページに写真、イラストを掲載。 ◇落ち着いた配色。
(2) イ	◇挿絵と文章がバランスよく配置されている。
ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。
エ	◇ユニバーサルデザインに配慮し、色だけでなく模様でも判別できる工夫がなされている。

別表4

項目	2 東書
(1) A	◇問題やまとめに緑色の囲み。
(2) イ	◇全ての児童の色覚特性に適應するようにデザインと表記。 ◇文字の白抜き囲みがあり分かりやすい工夫がある。
(3) ウエ	◇重要語句は太字。 ◇一部の漢字にふりがな。 ◇ユニバーサルデザインフォントを使用。
オ	◇堅牢である。 ◇植物油インキと再生紙を使用。 ◇1学年から5学年までは上下巻。(1学年のみ1、2と表記)6学年は1冊。 ◇1学年の1のみAB版、他はB5版。

別表1

項目	4 大日本
(1) A	
ア B	
C	◇第1学年を中心に、部分的に使用できる。
D	◇各学年、部分的に使用できる。
(2) イ	◇例題→問題→演習の順 ◇第2学年以上は、巻末に前学年の学習内容のまとめが掲載 ◇第2学年以上は、巻頭の「たのしい算数」のつかい方で算数の学び方、ノートの書き方などを掲載 ◇第2学年以上は、巻末の索引に教科書に出てくる言葉や記号とページが掲載 ◇第2学年以上は、目次に下学年と上学年の関連単元を表記 ◇第4学年以上は、巻末に数直線図の書き方を掲載 ◇第2学年以上は、巻末の「プラス・ワン」で補充問題を記載
その他	

別表2

項目	4 大日本
(1) A	◇実生活に関する例題の提示 ◇「算数たまたまばこ」「おうちでさんすう」を掲載
(2) イ	◇実生活に関する写真や絵 ◇動物や食べ物の絵の使用 ◇カードゲーム、かけざんピンゴ ◇男女の児童のキャラクター ◇うさぎのキャラクター ◇巻末に色紙、ものさし ◇第3学年以上で「ふりかえろう」が提示しており、振り返りの視点や書き方の参考にできるよう工夫している。
ウ	
その他	◇各ページに二次元コードが掲載 ◇各学年に「プログラミングにちょうせん」を掲載

別表3

項目	4 大日本
(1) A	◇各ページに写真、イラストが配置 ◇落ち着いた配色
(2) イ	◇多色で印刷されており、違いがわかるよう配慮されている。
ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用
エ	◇グラフは色だけでなく模様でも判別できる工夫がされている。

別表4

項目	4 大日本
(1) A	◇問題はクリーム色の背景色の囲み枠、重要事項は青線の囲み枠、考え方は赤線の囲み枠、九九の唱え方は緑線の囲み枠と目的に応じて4色に分けられている。
(2) イ	◇カラーユニバーサルデザインを採用 ◇文字の白抜き、囲みがあり分かりやすい工夫がある。
(3) ウ	◇単元名、項目、重要語句は太字 ◇一部の漢字にふりがな ◇ユニバーサルデザインフォントを採用
エ	◇堅牢 ◇環境に配慮した紙と植物油インキを使用と表記 ◇B5判 ◇1年は2冊、2～6年とは1冊

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (算数)

別表1

項目	11 学図
(1) A	
(1) B	
(1) C	◇第1学年を中心に、部分的に使用できる。
(1) D	◇各学年部分的に使用できる。
(2) イ	◇例題→問題→演習の順 ◇第2学年以上の上巻の巻頭に「算数の学び方」「ノート名人になろう」「算数で見つけたい！考え方モンスター」を掲載 ◇第2学年以上の上巻には、巻頭に全学年で見つけた見方・考え方を掲載 ◇第2学年以上は、巻末の「この本に出てきたことばとしるし(または記号)」に教科書に出てくる言葉や記号とページを掲載 ◇第2学年以上は、目次に下学年と上学年の関連単元を表記 ◇巻末に補充問題が掲載
その他	

別表2

項目	11 学図
(1) A	◇実生活に関する例題の提示 ◇「ふりかえろう つなげよう」「ふかめよう」「算数をつかって」を掲載
(2) イ	◇日常場面に関する写真や絵 ◇動物や食べ物の絵の使用 ◇カードゲーム、かけ算ゲーム ◇各単元導入で身近な疑問を見つけるイラスト形式の「？を発見」を設定し生活に即した導入
ウ	◇児童のキャラクター ◇たまごのキャラクター ◇モンスターのキャラクターで考え方を整理 ◇巻末に色板、円、図形、円周ものさし、分数カードなど、切り取って使用
その他	◇二次元コードが掲載 ◇各学年下巻の巻末に「プログラミングのふ」を掲載

別表3

項目	11 学図
(1) A	◇各ページに写真、イラストを配置 ◇落ち着いた配色
(2) イ	◇挿絵と文章がバランスよく配置されている。
ウ	◇ユニバーサルフォントを採用
エ	◇文字・イラスト・写真がより明確にわかるよう、紙の色を明るく白くする。

別表4

項目	11 学図
(1) A	◇問題文は青色の囲み枠、重要事項は博士マーク付きの青線の囲み枠、まどめは赤色の囲み枠で太字
(2) イ	◇ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集したと表記(カラーバリエーションとなるよう配慮)
(3) ウ	◇文字の白抜き、囲みがありわかりやすい工夫がある。
エ	◇重要語句は太字になっている。 ◇一部の漢字にふりがな ◇見やすいユニバーサルフォントを使用と表記
オ	◇堅牢 ◇環境に配慮した紙と植物油インキを使用と表記 ◇AB判 ◇1年～5年上下巻、6年1冊と「中学校へのかけ橋」が付属

別表1

項目	17 教出
(1) A	
(1) B	
(1) C	◇第1学年を中心に、部分的に使用できる。 ◇表紙・裏表紙の絵 各章の写真、イラスト、巻末資料を中心に使用できる。
(1) D	◇各学年、部分的に使用できる。 ◇表紙・裏表紙の絵 各章の写真、イラスト、巻末資料を中心に使用できる。
(2) イ	◇例題→問題→演習の順 ◇第2学年以上は巻頭に「算数をはじめよう！」で学び方や考え方を掲載 ◇巻末に「教科書に出てきたことば」で教科書に出てくる言葉や記号とページが掲載 ◇各巻末に「自分で取り組むページ」として「ステップアップ算数」の問題が記載 ◇巻末に「学びのマップ」で下学年の関連単元の表記
その他	

別表2

項目	17 教出
(1) A	◇実生活に関する例題の提示 ◇「算数ワールド」を掲載 ◇巻末に「学びの手引き」を掲載
(2) イ	◇実生活に関する写真や絵 ◇「どんな学習が始まるかな」で生活に即した導入
ウ	◇男女の児童のキャラクター ◇どんぐりのキャラクター ◇？や！のマークで考えを深める部分を整理 ◇巻末にタングラム、ものさし計算機、色板、九九ジグソーパズル
その他	◇ウェブコンテンツが掲載 ◇各学年に「算数ワールド」を掲載

別表3

項目	17 教出
(1) A	◇各ページに写真、イラストが配置 ◇色彩豊かな配色
(2) イ	◇多色で印刷されており、違いがわかるよう配慮されている。 ◇挿絵と文章がバランスよく配置されている。
ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用
エ	◇見やすいように、背景の色を変えたり、図表を一定の大きさで示したりしている。

別表4

項目	17 教出
(1) A	◇重要箇所は薄線で囲み、問いは緑で囲い、練習問題は水色
(2) イ	◇カラーユニバーサルデザインと表記 ◇文字の白抜き、囲みがありわかりやすい工夫がある。
(3) ウ	◇単元名・項目・重要語句は太字 ◇一部の漢字にふりがな ◇ユニバーサルデザインフォントと表記
オ	◇堅牢 ◇再生紙と植物油インキ使用と表示 ◇B5判 ◇1. 5. 6年は1冊 2～4年は上下巻

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (算数)

別表1

項目	61 啓林館
(1) A	
ア B	
C	1学年用を部分的に使用することが可能
D	各学年部分的に使用できる。
(2) イ	<p>◇例題→問題→演習の順</p> <p>◇2学年以上の上巻の巻頭に「算数のとびら」を掲載し、学び方やノートの作り方などを解説。</p> <p>◇2学年以上は巻末に「学びをつなげよう」を掲載し、これまでの学習を振り返ることができる。</p> <p>◇2学年以上は巻末に「じゅんぴ」「もつとれんしゅう」を掲載。</p> <p>◇2学年以上は、目次に前後の関連単元を標記。</p>
その他	

別表2

項目	61 啓林館
(1) ア	<p>◇実生活に関する例題の提示。</p> <p>◇「見方・考え方を深めよう」「どんな計算になるのかな」などを掲載。</p>
(2) イ	<p>◇実生活に関する写真や絵。</p> <p>◇食べ物や動物などの絵の使用。</p> <p>◇カードゲーム等</p>
ウ	<p>◇男女の児童のキャラクター</p> <p>◇巻末に切り取って使用するページを掲載。</p> <p>◇えんぴつのキャラクターで考え方を整理。</p>
その他	<p>◇二次元コードを掲載。</p> <p>◇2学年からわくわくプログラミングを掲載。</p>

別表3

項目	61 啓林館
(1) ア	<p>◇各ページに写真、イラストを掲載。</p> <p>◇落ち着いた配色。</p>
(2) イ	◇挿絵と文章がバランスよく配置されている。
ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。
エ	◇ユニバーサルデザインに配慮されている。

別表4

項目	61 啓林館
(1) ア	◇問題に緑色の囲み、まともに児童の吹きだしを使用。
イ	◇個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色、デザインを用いたと表記。
(2) ウ	◇重要語句は太字。
エ	◇一部の漢字にふりがな。
(3) オ	<p>◇ユニバーサルデザインフォントを使用。</p> <p>◇堅牢である。</p> <p>◇植物油インキと再生紙を使用。</p> <p>◇1学年から4学年までは上下巻。(1学年のみスタートブックと1と表記)5、6学年は1冊。</p> <p>◇1学年の1のみAB版、他はB5版。</p>

別表1

項目	116 日文
(1) A	
ア B	
C	◇第1学年を中心に、部分的に使用できる。
D	◇各学年部分的に使用できる。
(2) イ	<p>◇例題→問題→演習の順</p> <p>◇第1学年は、巻中ほどに「さんすうのがくしゅうのすすめかた」「さんすうノートをつくらう」第2学年以上は巻頭に「さあ、算数の学習をはじめよう!」(学び方の4ステップ、算数ノートをつくらう、教科書の使い方)</p> <p>◇第2学年以上は巻末に全学年までに学習したことがまとめられ、確かめられるページがあり、「さくいん」として大切なことばと記号を掲載</p> <p>◇第2学年以上は巻末にふろく「学び方ガイド・算数で使いたい見方・考え方」</p> <p>◇第2学年以上は巻末に「算数マイトライ」「しっかりチェック」「ぐっとチャレンジ」「もつとジャンプ」を掲載</p> <p>◇目次に下学年、現学年の関連単元を表記</p>
その他	

別表2

項目	116 日文
(1) ア	<p>◇実生活に関する例題の提示</p> <p>◇「つかってみよう」「なるほど算数」などを掲載</p>
(2) イ	<p>◇実生活に関する写真や絵</p> <p>◇かたちあそび、かたちあてゲームやじんとりゲーム</p> <p>◇食べ物や動物、文房具の絵の使用</p>
ウ	<p>◇男女の児童キャラクターとりのキャラクター</p> <p>◇巻末に色板、図形、円、分度器、九九づくりのひょうなど、切り取って使用</p>
その他	<p>◇二次元コードを掲載</p> <p>◇各学年巻末に「レッツプログラミング」を掲載</p>

別表3

項目	116 日文
(1) ア	<p>◇各ページに写真、イラストを配置</p> <p>◇落ち着いた配色</p>
(2) イ	◇挿絵と文章がバランスよく配置されている。
ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを採用
エ	<p>◇図は太線で分かりやすい</p> <p>◇図表や資料は一定の大きさで示され、見やすく分かりやすい</p>

別表4

項目	116 日文
(1) ア	◇問題は薄紫色の囲み、使いたい見方、考え方は橙点線の囲み、まともに橙の背景の囲み
イ	◇カラーユニバーサルデザインに配慮と表記
(2) ウ	◇文字の白抜き、囲みがあり分かりやすい工夫がある。
エ	◇単元名、項目、重要語句は太字
(3) オ	<p>◇一部の漢字にふりがな</p> <p>◇ユニバーサルデザインフォントを採用と表記</p> <p>◇堅牢</p> <p>◇植物油インキと再生紙を使用と表記</p> <p>◇B5判</p> <p>◇1年のみ2冊、2～4年上下巻、5、6年1冊</p>

教科・種目名 理科

項目	発行者名		
	2 東啓	4 大日本	11 学図
使用上の留意点	<p>発達段階のめやすに照らして、[C] [D] 段階の児童に部分的に使用できる。</p> <p>巻頭で理科の学習の進め方について挿絵と文で説明している。コンピュータの使い方について二次元コードから確認できる。</p> <p>巻末には、ノートの書き方や発表・話し合いの仕方、実験器具の使い方や ICT の活用方法などが挿絵や写真と文で簡潔にまとめられている。1年間の学習の要点を見開きでまとめている。</p>	<p>発達段階のめやすに照らして、[C] [D] 段階の児童に部分的に使用できる。</p> <p>巻頭で理科の学習の進め方について挿絵と文で説明している。</p> <p>巻末には、既習事項やノートの書き方、記録と整理の仕方、実験器具の使い方や ICT の活用方法などが挿絵や写真と文で簡潔にまとめられている。1年間の学習の要点を見開きでまとめている。</p>	<p>発達段階のめやすに照らして、[C] [D] 段階の児童に部分的に使用できる。</p> <p>巻頭で理科の学習の進め方について挿絵と文で説明している。</p> <p>巻末には、記録の仕方（ノートの書き方）や調べ方（ICT 活用）、実験器具の使用方法などが挿絵や写真と文で簡潔にまとめられている。</p>
	<p>挿絵や写真を効果的に使用し、興味・関心を抱かせるよう工夫している。</p> <p>全単元で実験・観察を取り上げ、体験を通して学びが広がり、深まるよう工夫している。</p> <p>導入や課題設定段階でキャラクターや子どもの吹き出しにより、課題が明確となるようにしている。</p> <p>各単元の終わりに、挿絵入りのまとめ、確かめ問題、生活と関連付ける記事の記載がある。</p>	<p>挿絵や写真を効果的に使用し、興味・関心を抱かせるよう工夫している。</p> <p>全単元で実験・観察を取り上げ、体験を通して学びが広がり、深まるよう工夫している。</p> <p>導入や課題設定段階でキャラクターや子どもの吹き出しにより、課題が明確となるようにしている。</p> <p>各単元の終わりに、復習のための確かめ問題がある。</p>	<p>挿絵や写真を効果的に使用し、興味・関心を抱かせるよう工夫している。</p> <p>全単元で実験・観察を取り上げ、体験を通して学びが広がり、深まるよう工夫している。</p> <p>導入や課題設定段階でキャラクターや子どもの吹き出しにより、課題が明確となるようにしている。</p> <p>各単元の終わりに、復習のための確かめ問題がある。</p>
	<p>カラーの挿絵、図、写真を使用している。</p> <p>安全に留意する事柄は、赤色のマークと赤色の文字で表記。</p>	<p>カラーの挿絵、図、写真を使用している。</p> <p>安全に留意する事柄は、赤色のマークと赤色の文字、赤線囲みで表記。</p>	<p>カラーの挿絵、図、写真を使用している。</p> <p>安全に留意する事柄は、赤色のマークと赤色の文字で表記。</p>
	<p>A4判 全ての文字がUDフォント まとは全漢字振り仮名</p>	<p>A4判 全ての文字がUDフォント ほぼ全ページに二次元コード</p>	<p>AB判 UDフォントと明朝体</p>

発行者名		
17 教出	26 信教	61 啓林館
<p>発達段階のめやすに照らして、[C] [D] 段階の児童に部分的に使用できる。</p> <p>巻頭で理科の学習の進め方やノートのとり方について挿絵と文で説明している。</p> <p>巻末には、記録の仕方（ICT 活用）や実験器具の使用方法などが挿絵や写真と文で簡潔にまとめられている。1年間の学習の要点を見開きでまとめている。</p>	<p>発達段階のめやすに照らして、[C] [D] 段階の児童に部分的に使用できる。</p> <p>巻頭で理科の学習の進め方について挿絵と文で簡潔に表記している。</p> <p>巻末には、学習の参考になる動画などの資料が確認できる二次元コードの記載箇所と所要時間がリスト化されている。</p>	<p>発達段階のめやすに照らして、[C] [D] 段階の児童に部分的に使用できる。</p> <p>巻頭で理科の学習の進め方について挿絵と文で説明している。また、学びの中での ICT の活用方法についても写真と文で説明している。</p> <p>巻末には、ノートの書き方や発表・話し合いの仕方、理科の見方や考え方を挿絵や写真と文で簡潔にまとめている。映像を見て答える CBT が活用できる。</p>
<p>挿絵や写真を効果的に使用し、興味・関心を抱かせるよう工夫している。</p> <p>全単元で実験・観察を取り上げ、体験を通して学びが広がり、深まるよう工夫している。</p> <p>導入や課題設定段階でキャラクターや子どもの吹き出しにより、課題が明確となるようにしている。</p> <p>各単元の終わりに、挿絵入りのまとめ、確かめ問題がある。</p>	<p>挿絵や写真を効果的に使用し、興味・関心を抱かせるよう工夫している。</p> <p>全単元で実験・観察を取り上げ、体験を通して学びが広がり、深まるよう工夫している。</p> <p>導入や課題設定段階でキャラクターや子どもの吹き出しにより、課題が明確となるようにしている。</p> <p>各単元の終わりに復習のための1ページを使用したイラスト入りのまとめがある。</p>	<p>挿絵や写真を効果的に使用し、興味・関心を抱かせるよう工夫している。</p> <p>全単元で実験・観察を取り上げ、体験を通して学びが広がり、深まるよう工夫している。</p> <p>導入や課題設定段階でキャラクターや子どもの吹き出しにより、課題が明確となるようにしている。</p> <p>各単元の終わりに、挿絵入りのまとめ、確かめ問題、生活と関連付ける記事の記載がある。</p>
<p>カラーの挿絵、図、写真を使用している。</p> <p>安全に留意する事柄は、赤と黄色のマークと赤色の文字で表記。</p>	<p>カラーの挿絵、図、写真を使用している。</p> <p>安全に留意する事柄は、赤と黄色のマークと黒色の文字、赤線囲みで表記。</p>	<p>カラーの挿絵、図、写真を使用している。</p> <p>安全に留意する事柄は、マークと赤色の文字で表記。</p>
<p>変形判（横A4縦A4の2cm短） 全ての文字がUDフォント 重要語句太字と黄マーカー</p>	<p>AB判 UDフォント、明朝体、ゴシック体</p>	<p>AB判 全ての文字がUDフォント アイコンと文字で注意喚起</p>

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (理科)

別表1

項目	2 東書
(1) A	
B	
C	◇写真や動画等を中心に活用できる。
D	◇写真や動画、学習を支援するコンテンツを中心に使用できる。
(2) イ	◇問題解決の過程が1本のラインでつながれ、学びの流れが分かりやすく示されている。 ◇視線の移動が少なく、流れが分かりやすい一段組みのレイアウトになっている。 ◇文章は、単語の途中で改行せず、文節で改行して読みやすく示されている。 ◇安全な観察・実験を行うための配慮が必要な場面には禁止事項とその理由を赤字で強調。 ◇理科の見方や考え方の具体例が青枠で囲まれ、目印としてナビゲーター役のキャラクターを登場させ、示している。 ◇全単元・全時間に対応したワークシートが二次元コンテンツとして用意されている。巻末には、ノートのかき方、発表・話し合いのしかたが掲載されている。
その他	

別表2

項目	2 東書
(1) A	◇節末や単元末には、学んだことを日常生活や社会につなげる読み物や活動が設定されている。 ◇キャリア教育や伝統・文化、SDGsなどの題材も多く、理科の学びが広がり、深まる。
イ	◇全ての単元導入で、問題をつかむための活動が設けられ、主体的・対話的に問題がつかめるように工夫されている。
(2) ウ	◇巻頭には、ダイナミックな写真と簡潔なメッセージで理科の世界に引き込む工夫がなされている。 ◇豊富なウェブコンテンツからは、期待感を高めるアニメーション動画が視聴できる。
その他	

別表3

項目	2 東書
(1) A	◇単元末には、手書き風の挿絵が使用され、ノートの取り方の参考にもなる。
イ	◇カラー写真を多数使用。 ◇文字の大きさを大、中、小の3種類を基本に使用。
(2) ウ	◇読みに困難がある児童のために、単元導入と節末の「まとめ」では全ての漢字に振り仮名がついている。 ◇見やすく読みまちがえにくいUDフォントが採用されている。 ◇「まとめ」が箇条書きに、簡潔にわかりやすく示されている。
エ	◇図表が整然と規則的に配置され、視線の移動がしやすくなっている。

別表4

項目	2 東書
(1) A	◇色覚多様性への配慮あり。
イ	◇多色の使用を控え、全体の色調を緑とオレンジで統一。落ち着いた学べるよう配慮されている。
(2) ウ	◇各項目間の行間が広く取られ、読みやすく理解しやすく配慮されている。
エ	◇安全な観察・実験を行うための配慮が必要な場面には禁止事項とその理由を赤字で強調。
(3) オ	◇丈夫な軽量紙を使用。再生紙・植物油インキを使用。A4判。 ◇身体的負担軽減に配慮し、令和2年度用教科書から全学年合計46ページ削減。

別表1

項目	4 大日本
(1) A	
B	
C	◇写真や動画等を中心に活用できる。
D	◇写真や動画、学習を支援するコンテンツを中心に使用できる。
(2) イ	◇問題解決の過程を見つけよう(緑)、調べよう(橙)、伝えよう(青)の3色のラインでつなぎ、問題解決のどこに当たるかがわかりやすく示されている。 ◇読みやすくするために文節で改行されている。 ◇理科の見方につながる着目点や問題解決の各過程に活動のヒントとが新設され、目印としてナビゲーター役のキャラクターを登場させたり、色で囲んだりして示している。 ◇巻末には、ノートの書き方や豊富な記録のしかたが掲載されている。
その他	

別表2

項目	4 大日本
(1) A	◇学習内容が広く社会に役立っていること、自分のキャリアについて考えること、世界が直面する課題の克服について考えることなどができる読み物が充実している。
イ	◇身近な題材を取り上げた問いかけや読み物から導入することで、学習への興味関心が高まるよう工夫している。
(2) ウ	◇紙面の大きさを最大限生かしたダイナミックな写真がインパクトを与えるように配置されている。 ◇豊富なウェブコンテンツからは、期待感を高めるアニメーション動画が視聴できる。
その他	

別表3

項目	4 大日本
(1) A	◇豊富な子どもの対話場面の挿絵が使用されており、登場するキャラクターを固定することで、考え方のつながりや変容を意識しやすくしている。
イ	◇カラー写真を多数使用。 ◇文字の大きさを大、中、小の3種類を基本に使用。
(2) ウ	◇見やすく読みまちがえにくいUDフォント採用と表記。 ◇ウェブコンテンツへの二次元コードの位置が固定され、探しやすい。
エ	◇図表が整然と規則的に配置され、視線の移動がしやすくなっている。

別表4

項目	4 大日本
(1) A	◇色覚多様性への配慮あり。 ◇似たような実験内容が並ぶときは、適切な配色の色分けで混乱しないよう工夫されている。
イ	◇各項目間の行間が広く取られ、読みやすく理解しやすく配慮されている。
(2) ウ	◇安全な観察・実験を行うための配慮が必要な場面には禁止事項とその理由を赤字と赤枠で強調。
(3) オ	◇表紙には丈夫で汚れにくくなる「UVラミコート」を施し、抗菌・抗ウイルス機能をもつ「Lock3」を塗布。 ◇目に優しい紙、環境に優しい植物油インキ使用。A4に大判化。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (理科)

別表1

項目	11 学図
(1) A	
ア B	
C	◇写真や動画等を中心に活用できる。
D	◇写真や動画、学習を支援するコンテンツを中心に使用できる。
(2) イ	◇問題解決の過程が1本のラインでつながれ、学びの流れが分かりやすく示されている。 ◇読みやすくするために文節で改行されている。 ◇つきたい力をキャラクターで表し、個々の力を親しみをもってとらえられるようにしている。各学年の問題解決のポイントに合わせ、キャラクターが進化することで楽しみながら理科を学んでいける。 ◇巻末には、ノートの書き方や豊富な記録のしかたが掲載されている。
その他	

別表2

項目	11 学図
(1) ア	◇学んだことが生活の中に生かされていることを多く紹介し、学習の定着や更なる興味・関心につなげている。
イ	◇紙面の大きさを最大限生かしたダイナミックな写真がインパクトを与えるように配置されている。
(2) ウ	◇単元で学びが途切れるのではなく継続していくよう、学習の素材や配列、扱い方などに配慮されている。 ◇更なる興味・関心を自ら解決する力を付けるために、自由研究のページが充実している。
その他	

別表3

項目	11 学図
(1) ア	◇豊富な子どもの対話場面の挿絵が使用されており、登場するキャラクターを固定することで、考え方のつながりや変容を意識しやすくしている。
イ	◇カラー写真を多数使用。 ◇文字の大きさを大、中、小の3種類を基本に使用。
(2) ウ	◇見やすく読みまちがえにくいUDフォント採用と表記。(明朝体との併用)
エ	◇実験器具の使い方や実験方法における一連の作業を細かなステップに分解し、縦の流れで示されている。一つ一つ確認しながらの学習が可能。

別表4

項目	11 学図
(1) アイ	◇色覚多様性への配慮あり。
(2) ウエ	◇重要語句は書体をゴシック太字に変え、目立たせている。 ◇実験や観察の注意は、肯定的な表現の言葉が使われている。赤字で強調されている。
(3) オ	◇丈夫な軽量紙を使用。再生紙・植物油インキを使用。AB判。

別表1

項目	17 教出
(1) A	
ア B	
C	◇写真や動画等を中心に活用できる。
D	◇写真や動画、学習を支援するコンテンツを中心に使用できる。
(2) イ	◇問題解決の過程が1本のラインでつながれ、子どものキャラクターアイコンを使用し目立たせている。 ◇文章は、単語の途中で改行せず、文節で改行して読みやすく示されている。 ◇安全な観察・実験を行うための配慮が必要な場面には禁止事項とその理由を赤字とマークで強調。 ◇理科の見方・考え方を働かせた子どもの発言例にカギマークとピンク色のマーカーで目立たせている。 ◇巻頭には、ノートの書き方が掲載されている。
その他	

別表2

項目	17 教出
(1) ア	◇専門家の監修をもとに、SDGsに関連する内容には、該当する目標のSDGsマークを掲載している。
イ	◇子どもが活動している様子や不思議を感じさせるものなど、子どもの「なぜ？」を引き出しやすい写真が精選されている。
(2) ウ	◇紙面の大きさを最大限生かしたダイナミックな写真がインパクトを与えるように配置されている。 ◇豊富なウェブコンテンツからは、学びを深めたり、興味を引き出す動画が視聴できる。
その他	

別表3

項目	17 教出
(1) ア	◇主人公が友達と関わり合いながら学ぶ姿を表現しているのに加え、先生キャラクターの発言が記されている。子どもの発言をフォローしたり、価値づけたりしており、思考の手助けをしている。
イ	◇カラー写真を多数使用。 ◇文字の大きさを大、中、小の3種類を基本に使用。
(2) ウ	◇全ての文字に、UDデザインフォントを採用と表記。
エ	◇図表や写真が大きく掲載され、写真や図に重なる文字が見やすいように白い縁取りがされている。 ◇学習の系統性や既習内容、生活内容の活用、学習前後の成長の記載が囲み枠で記され見やすく配置されている。

別表4

項目	17 教出
(1) アイ	◇色覚多様性への配慮あり。 ◇重要語句を太字にするとともに黄色でマーキングされている。
(2) ウエ	◇各項目間の行間が広く取られ、読みやすく理解しやすく配慮されている。 ◇安全な観察・実験を行うための配慮が必要な場面には禁止事項を赤字とマークで強調。
(3) オ	◇表紙には耐水加工、防菌加工あり ◇環境に優しい再生紙と植物油インキ使用。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (理科)

別表1

項目	26 信教
(1) A	
B	
C	◇写真や動画等を中心に活用できる。
D	◇写真や動画、学習を支援するコンテンツを中心に使用できる。
(2) イ	◇問題解決の過程を統一したイラストのアイコンを使用し、目立たせている。 ◇安全な観察・実験を行うための配慮が必要な場面には禁止事項をイラストと赤の囲み枠で強調。 ◇実験の結果が丁寧に言葉で説明されており、ノート整理のヒントとすることができる。手書きをイメージした教科書体が使用されている。
その他	

別表2

項目	26 信教
(1) A	◇多くの学校の実践をもとに、子どもにとって身近で関心の高い事前の事物・現象の中から素材を選んだと表記あり。
(2) イ	◇既習事項がある場合、関連する学年、単元名、学習事項が端的に示されている。 ◇大きく示した口絵の写真や挿絵とを関係づけながら、問題を見出しやすくしている。
ウ	◇学ぶ楽しさと学び方の豊かさを広げるための取り組みやすい活動が掲載されている。
その他	

別表3

項目	26 信教
(1) A	◇主人公が友達と関わり合いながら学ぶ姿を表現しているのに加え、先生キャラクターの発言が記されている。子どもの発言をフォローしたり、価値づけたりしており、思考の手助けをしている。
イ	◇カラー写真を多数使用。 ◇文字の大きさを大、中、小の3種類を基本に使用。
(2) ウ	◇UDフォントを使用。(教科書体も併用) ◇ウェブコンテンツへの二次元コードの位置が固定され、探しやすい。
エ	◇見開きページでは、連続した表現となるような構成も取り入れられ、追及意識や意欲が持続的に高められるようにしたと表記あり。

別表4

項目	26 信教
(1) A	◇色覚多様性への配慮あり。 ◇全体の色調を緑とオレンジ、青を基調とし、落ち着いて学べるよう配慮されている。
(2) ウエ	◇文字とアイコンを組み合わせたマークでわかりやすく表示されている。 ◇安全な観察・実験を行うための配慮が必要な場面には禁止事項をマークと赤枠で囲んで強調。
(3) オ	◇紙面にゆとりをもたせ、より見やすく充実した紙面構成となるAB判としたと表記あり。

別表1

項目	61 啓林館
(1) A	
B	
C	◇写真や動画等を中心に活用できる。
D	◇写真や動画、学習を支援するコンテンツを中心に使用できる。
(2) イ	◇問題解決過程を「見つける・調べる・まとめる」の3段階の「学びのサイクル」で示し、学びが積み重なり深まる全体構成としている。 ◇場面と目的がわかるICT活用例が記載されている。 ◇発達の段階に合わせた展開。中学年では、理科への素朴概念・問題発見を、高学年では、科学的な概念形成・自己成長の実感が大切にされている。
その他	

別表2

項目	61 啓林館
(1) A	◇節末や単元末には、日常生活や社会生活に関連した話題が多数掲載されている。 ◇働く人へのインタビューが多数取り上げられており、理科の学びと自らの将来をつなぎ、意欲が高まるように工夫されている。
(2) イ	◇子どもたちが意識的に理科の見方・考え方をはたらかせられるよう、イラストの吹き出しの中に「見方・考え方マーカ」がひかれている。主体的な問題解決をサポート。
ウ	◇質の高い写真が豊富に掲載されている。 ◇表現活動を豊かにするイラストデータ集をダウンロードして使用可能。
その他	

別表3

項目	61 啓林館
(1) A	◇特別支援教育の専門家の監修のもと、すべての子どもたちが支障なく、落ち着いて学習できるように工夫していると表記。発達の段階に合わせてメインカラーを設定している。
イ	◇カラー写真を多数使用。 ◇文字の大きさを大、中、小の3種類を基本に使用。
(2) ウ	◇UDフォントを採用と表記。
エ	◇図表や写真が大きく掲載され、写真や図に重なる文字や線には白い縁取りがなされている。

別表4

項目	61 啓林館
(1) A	◇色覚特性を含めたすべての人が見やすく、読みやすいデザイン、メディ・ユニバーサル・デザイン教会の承認申請中と記載あり。白を基調とした視認性が高い紙面。
イ	◇全ての文字に、UDフォントを採用。
(2) ウエ	◇文字とアイコンを組み合わせたマークでわかりやすく表示されている。 ◇安全な観察・実験を行うための配慮が必要な場面には禁止事項を赤字とマークで強調。
(3) オ	◇ページ数は減らさず仕様の変更、用紙・造本を再検討し軽量化。 ◇写真が鮮やかに発色し、裏写りにくい自社開発紙使用。 ◇情報受容に適し、机上スペースにゆとりがもてるAB判。

教科・種目名 生活

項目	発行者名		
	2 東書	4 大日本	11 学図
使用上の留意点	別表1		
	別表2		
	発達段階のめやすに照らして [A] [B] の児童に部分的に、[C] [D] の児童に使用できる。	発達段階のめやすに照らして [A] [B] の児童に部分的に、[C] [D] の児童に使用できる。	発達段階のめやすに照らして [A] [B] の児童に部分的に、[C] [D] の児童に使用できる。
	二次元コードを読み込み、web サイトを閲覧することで理解を深めることができる。動画の内容が豊富で音楽等が使用され児童を飽きさせない工夫がある。また、図鑑もデジタルで用意されている。	インターネットを活用した学習ができる教材があり、二次元コードからアクセスして見ることができる。動画やワークシートで教材理解の支援を行うことができる。	インターネットを活用した学習ができる教材があり、二次元コードからアクセスして見ることができる。動画や図鑑・資料で教材理解の支援を行うことができる。 各単元において、学習のねらいを持って「体験活動」が設定されている。
	これまでの経験を想起させ、活動の見通しが持てるよう、単元に関する写真とつづやきが掲載されている。	身近な事象や学習している様子を取り上げ、体験的な学習を進めていく工夫をしている。また、合科的・関連的な学習活動ができるように設定している。	身近な自然・事象や学習している様子を季節の変化や児童の生活と関連させて取り上げ、体験的な学習を進めていく工夫をしている。また、他教科との合科的・関連的な学習活動ができるように設定している。
	表現方法がたくさん提示され、児童自ら学習の振り返りを行うことができる。	子どもの写真や絵に、気付きや考えを表す具体的な言葉を吹き出し形式で提示している。	子どもの絵や写真に、気付きや考えを表す具体的な言葉を吹き出し形式で提示している。
	巻末に「かつどうべんりてちょう」が掲載されており、低学年のうちに身に着けておくべき、学習習慣や生活習慣がまとめられている。	巻末に「がくしゅうどうぐばこ」のページがあり、学習内容をさらに深めることのできる資料を添えている。	巻末に「まなびかたずかん」のページがあり、学ぶ力をつけるための学び方のヒントが掲載されている。

発行者名			
17 教出	26 信教	38 光村	61 啓林館
発達段階のめやすに照らして [A] [B] の児童に部分的に、[C] [D] の児童に使用できる。	発達段階のめやすに照らして [A] [B] の児童に部分的に、[C] [D] の児童に使用できる。	発達段階のめやすに照らして [A] [B] の児童に部分的に、[C] [D] の児童に使用できる。	発達段階のめやすに照らして [A] [B] の児童に部分的に、[C] [D] の児童に使用できる。
二次元コードを読み込み、web サイトを閲覧することで理解を深めることができる。教科書の内容を児童に分かりやすく伝える動画が準備されている。また、図鑑もデジタルで用意されている。	二次元コードを読み込み、web サイトを閲覧することで理解を深めることができる。単元の内容に合わせ、植物や生き物の写真、活動の様子や製作物の写真が掲載されている。	インターネットを活用した学習ができる教材があり、各ページの二次元コードからアクセスして見ることができる。写真や動画で教材理解の支援を行うことができる。 それぞれの学習内容を三段階で組み立てており、学びを深めながら学習を進める工夫がある。	二次元コードを読み込み、web サイトを閲覧することで理解を深めることができる。動画の内容が豊富で音楽等が使用され児童を飽きさせない工夫がある。また、図鑑もデジタルで用意されている。
導入部分で「わくわくすいっち」というコーナーが設置され、自分の興味関心から課題を見つけることができる。	季節の移り変わりや児童の生活と関連させて、身近な自然・社会の事象や学習している様子を取り上げ、体験的な学習を進めていく工夫をしている。また、合科的・関連的な学習活動ができるように設定している。	季節の移り変わりや身近な事象や学習している様子を取り上げ、体験的な学習を進めていく工夫をしている。また、合科的・関連的な学習活動ができるように設定している。	多くの児童が入学までに体験してきたことなどを写真や挿絵で表現し、そこにどんな課題があるのか提示されており興味関心につなげやすい。
「はっけんロード」をたどることで、学習の見通しが持てる。			紙面右下に「めくり言葉」が配置され次の活動や学びに対する意欲が高められる。
巻末「まなびのぼけ」とで各教科との関連性が示されており、合科的な学習につなげやすい。	子どもの絵や写真に、気付きや考えを表す具体的な言葉を吹き出し形式で提示している。	子どもの写真や絵に、気付きや考えを表す具体的な言葉を吹き出し形式で提示している。	3つの図鑑やデジタルコンテンツによって児童の興味関心に沿った主体的な学びが展開できる。
	もくじに、学習内容のテーマに沿ったマークが示されており、単元で何の学習をするのかが、わかりやすく表示されている。	上下巻ともに、巻末に「ひろがるせいかつじん」がついており、学習内容をさらに深めることができるようになっている。	

項目	発行者名		
	2 東書	4 大日本	11 学図
別表3・4	<p>特別支援教育専門家監修のもと制作され、ユニバーサルデザインに配慮されている。</p> <p>ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>分かち書きで書かれている。</p> <p>小单元名、本文、各種マークなどがすべての単元で同じ位置に配置されている。</p>	<p>特別支援教育専門家に監修を依頼し、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。</p> <p>ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>大きな文字を使用するとともに、分かち書きされている。ひらがなが多く、漢字の一部にかながふってある。</p>	<p>白色度の高い用紙に鮮明で見やすく印刷されている。</p> <p>多様な色覚に配慮したカラーユニバーサルやユニバーサルデザインフォントを使用し、視認性と読みやすさの向上が図られている。</p> <p>分かち書きで書かれている。漢字には全てかながふってある。</p>
備考			

発行者名			
17 教出	26 信教	38 光村	61 啓林館
<p>特別支援教育専門家監修のもと制作され、ユニバーサルデザインに配慮されている。</p> <p>ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>分かち書きで書かれている。</p>	<p>昔から日本に伝わる伝統や風習、自然について、絵や写真で分かりやすく掲載。</p> <p>カラーユニバーサルデザインに配慮されている。</p> <p>分かち書き。漢字には一部かながふってある。</p>	<p>カラーユニバーサルデザインに配慮されている。特別支援教育の観点より、専門家に校閲を実施。</p> <p>ユニバーサルデザインフォントを使用している。本文に書き文字と差異のない書体を使用している。</p> <p>大きな文字を使用するとともに、分かち書き、漢字の一部にはかながふってある。</p>	<p>特別支援教育専門家監修のもと制作され、ユニバーサルデザインに配慮されている。</p> <p>ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>分かち書きで書かれている。</p>

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (生活)

別表1

項目	2 東書
(1) ア	◇写真・挿絵を中心に使用できる。
B	◇写真・挿絵を中心に使用できる。
C	◇使用できる。
D	◇使用できる。
(2) イ	◇上巻は学校探検から始まり、四季に沿って自然と触れ合ったり、遊んだりする体験的な内容で構成されている。 ◇下巻は、野菜の栽培、四季の暮らし、町探検を中心に構成されている。 ◇ページの大部分に写真や挿絵を用いている。 ◇挿絵を使用し、学びのプロセスが解説されている。 ◇導入、学びのプロセス、深い学び、振り返り・表現の順で単元が構成されている。 ◇マークを用いて評価基準が明確に示されている
その他	◇学校の様子の中に車イスを使用している児童の絵、町の様子に車イスや介助犬を連れた人の挿絵がある。

別表2

項目	2 東書
(1) ア	◇身辺の自立に関わること、動植物の観察や飼育、身近な人々や地域、交通安全、公共の施設や交通機関の利用、保健健康、道具の適切な使用の仕方、まとめること・伝えること・発表など。
(2) イ	◇学習内容が一目で分かる写真や挿絵で興味関心を高めている。
ウ	◇写真や挿絵の吹き出しから新たな疑問や活動のヒントが分かるようにされている。
その他	◇二次元コードを読み取って使用する資料豊富に用意されている。 巻末には「かつどうべんりてちょう」が載せられており、生活や学習の基本がまとめられている。

別表3

項目	2 東書
(1) ア	◇挿絵も写真も豊富に使用されている。
(2) イ	◇大部分が挿絵と写真で構成されているが、適宜吹き出しや解説が示されている。
ウ	◇ユニバーサルデザインフォントが使用されている。
エ	◇イラストや写真を用いて、活動内容や活動の流れが示されている。 ◇具体的な気づきを促す記述や説明の言葉が記されている。

別表4

項目	2 東書
(1) ア	◇印刷は多色刷り
イ	◇カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮
(2) ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用
エ	◇大きな文字を使用するとともに、分かち書きされている。 ◇上巻はすべてひらがな、下巻は漢字にかながふってある
(3) オ	◇表紙の硬さは適度である。 ◇再生紙と植物油インキ使用。 ◇A4版

別表1

項目	4 大日本
(1) ア	◇写真・挿絵を中心に使用できる。
B	◇写真・挿絵を中心に使用できる。
C	◇使用できる。
D	◇使用できる。
(2) イ	◇上巻は「なかよし」をテーマにして、季節に沿いながら学校生活で出会う友達との関わり、生き物についてまとめている。 ◇下巻は「はっけん」をテーマに、季節、地域での生活、自分のこれまでの振り返り等の体験的な学習内容を設定。 ◇写真や挿絵をページの大部分に配置し、見やすさに工夫がある。 ◇具体的な活動の絵や写真によって、意欲を持たせたり、気づきを促したりする工夫をしている。 ◇校内から地域へと生活を広げていく。話す、聞く、見る、書く、相談する、と発展的な構成がされている。
その他	◇学校の様子の中に、車椅子を使用している児童の絵や写真、町の様子の中に車椅子を使用している人の絵や写真、補助犬の絵がある。

別表2

項目	4 大日本
(1) ア	◇身辺の自立に関わること、動植物の観察や飼育、身近な人々や地域、交通安全、公共の施設や交通機関の利用、保健健康、道具の適切な使用の仕方、まとめること・伝えること・発表など。
(2) イ	◇子どもが活動している絵や写真、子どもの言葉（吹き出し）、植物や生き物の写真を使用し、興味・関心を高めている。
ウ	◇子どもが活動している写真や絵に学習活動への思いをつぶやき（吹き出し）にして見通しを持たせたり、アドバイスや気づきを促したりしている。
その他	◇巻末の「がくしゅうどうぐばこ」が載せられており、生活や学習の基本がまとめられている。 ◇二次元コードを読み取って使用する資料が用意されている。

別表3

項目	4 大日本
(1) ア	◇絵と写真をページの大部分に掲載
(2) イ	◇写真は全体的なものばかりでなく、学習内容に沿って部分的な使用をしている。 ◇具体的な活動の写真には、説明の言葉や気づきを促す言葉が添えられている。
ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用
エ	◇具体的な活動の写真には、説明書きや気づきを促す言葉が添えられている。

別表4

項目	4 大日本
(1) ア	◇印刷は多色刷り
イ	◇カラーユニバーサルデザイン、特別支援教育の観点より専門家による校閲を実施。
(2) ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用
エ	◇大きな文字を使用するとともに、分かち書きされている。 ◇ひらがな表記が多く、漢字にはかながふってある。
(3) エ	◇表紙の硬さは適度である。 ◇環境に配慮した紙と植物油インキを使用 ◇A4版

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (生活)

別表1

項目	11 学園
(1) A	◇写真・挿絵を中心に使用できる。
ア B	◇写真・挿絵を中心に使用できる。
C	◇使用できる。
D	◇使用できる。
(2) イ	◇上巻は学校探検から始まり、四季に沿って生き物の飼育や栽培、季節を感じ自然と触れ合うなどの体験的な内容で構成 ◇下巻は町探検から始まり、人との交流、生き物との関わり、野菜栽培、おもちゃ作り等の活動を通して、計画、実行、ふり返り、改善、実行、ふり返りと、気づきが高められるよう、より発展的に構成 ◇写真や挿絵をページの大部分に配置し、見やすさに工夫 ◇具体的な活動の絵や写真により、意欲を持たせたり、気づきを促したりする工夫をしている。 ◇願いをもち、主体的・対話的に活動、伝え合い、ふり返る構成。上下巻とも、単元末には「もっと〇〇したい」を設け、学びをつなげ、生活が豊かになるよう構成されている。
その他	◇学校の様子に、車椅子を使用している児童の絵、町の様子の中に車いすを使用している人や補助犬の絵、白杖を使用している人の写真がある。 ◇バリアフリーの視点から身近な福祉設備を取り上げ、多様な人々への配慮に気付けるよう配慮されている。

別表2

項目	11 学園
(1) A	◇身近の自立に関わること、動植物の観察や飼育、身近な人々や地域、交通安全、公共施設は交通機関の利用、保健健康、道具の適切な使用に仕方、まとめること・伝えること・発表など。 ◇単元末に「もっと」ページを設置し学びを生かして活動を持続・発展できるようにしている。
(2) イ	◇子どもが活動している絵や写真、子どもの言葉（吹き出し）、植物や生き物の写真を使用し、興味関心を高めている。
ウ	◇4名の子どものキャラクターが学習活動への思いをつぶやく（吹き出し）、見通しを持たせたり、アドバイスや気づきを促したりしている。 ◇単元ごとに主のキャラクターを設定し、ストーリー性をもちた変化や成長の様子を分かりやすくしている。 ◇先生キャラクターからの問いかけを入れ、子どもが話しやすくなるよう工夫している。
その他	◇インターネットを活用した学習ができる教材があり、二次元コードからアクセスし、動画や図鑑・資料で教材理解の支援を行うことができる。 ◇巻末の「学び方図かん」で、自ら活動を広げていけるように配慮

別表3

項目	11 学園
(1) A	◇絵と写真をページの大部分に掲載。
イ	◇挿絵や写真に、発達段階に応じた表記、表現で説明等が添えられている。
(2) ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用
エ	◇イラストで、活動内容や活動の流れが分かりやすく表現されている。 ◇具体的な活動の写真には、説明の言葉や気づきを促す言葉が添えられている。

別表4

項目	11 学園
(1) A	◇印刷は多色刷り
(2) イ	◇専門家指導のもとユニバーサルデザインや多様な色覚に配慮し、色使いを工夫している。
(3) ウ	◇ユニバーサルフォントを採用。 ◇大きな文字を使用。分かち書き。上下巻とも、漢字には全てふりがなが付けられている。
エ	◇本文は見開き単位で構成。見出しやカードの位置を揃え、わかりやすく表現されている。
オ	◇表紙の硬さは適度である。 ◇環境に配慮した紙と植物油インキを使用 ◇AB判

別表1

項目	17 教出
(1) A	◇写真・挿絵を中心に使用できる。
ア B	◇写真・挿絵を中心に使用できる。
C	◇使用できる。
D	◇使用できる。
(2) イ	◇上巻は学校探検から始まり、四季に沿って自然と触れ合ったり、遊んだりする体験的な内容で構成されている。 ◇下巻は、野菜の栽培、四季の暮らし、町探検を中心に構成されている。 ◇ページの大部分に写真や挿絵を用いている。 ◇単元の初めに、「わくわくスイッチ」というコーナーを設けて児童の興味関心を高めている。 ◇サイコロのアイコンを使い、めあてを明確にしている。 ◇「はっけんロード」で学びの道筋が分かるようにしている。
その他	◇学校の様子の中に車いすを使用している児童の絵、町の様子に車いすや介助犬を連れて人、白杖を使用している人の挿絵がある。

別表2

項目	17 教出
(1) A	◇身近の自立に関わること、動植物の観察や飼育、身近な人々や地域、交通安全、公共施設や交通機関の利用、保健健康、道具の適切な使用の仕方、まとめること・伝えること・発表など。
(2) イ	◇学習内容が一目で分かる写真や挿絵に興味関心を高めている。
ウ	◇写真や挿絵の吹き出しから新たな疑問や活動のヒントが分かるようにされている。
その他	◇二次元コードを読み取って使用する資料が用意されている。 ◇巻末には「学びのぼけっと」が掲載されており、他教科との繋がりが紹介されている。

別表3

項目	17 教出
(1) A	◇挿絵も写真も豊富に使用されている。
イ	◇大部分が挿絵と写真で構成されているが、適宜吹き出しや解説が示されている。
(2) ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用
エ	◇イラストや写真を用いて、活動内容や活動の流れが示されている。 ◇具体的な気づきを促す記述や説明の言葉が記されている。

別表4

項目	17 教出
(1) A	◇印刷は多色刷り
(2) イ	◇カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮
(3) ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用 ◇大きな文字を使用するとともに、分かち書きされている。 ◇上巻は前半はひらがなのみ。後半からカタカナと1年生配当漢字をふりがな付きで用いている。 ◇下巻は上記に加え、2年生配当漢字をふりがな付きで用いている。
エ	◇表紙の硬さは適度である。
オ	◇再生紙と植物油インキ使用 ◇ABワイド判の判型が使用されている。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (生活)

別表1

項目	26 信教
(1) ア	◇写真・挿絵を中心に使用できる。
イ	◇写真・挿絵を中心に使用できる。
ウ	◇使用できる。
エ	◇使用できる。
(2) イ	◇上巻は、心と体をたくさん働かせて、やりたいことに思いきり取り組んでいける内容となっている。 ◇下巻は、様々な人・物・事と関わりながら、より一層視野を広げ、みんなと進んで取り組んでいける内容となっている。 ◇季節の変化と関わりのある地域行事や郷土料理等の地域の特色・特徴のある内容を掲載し、地域に育つ子供が、四季を通してその場所に関わることを重視した内容構成 ◇写真や挿絵をページの大部分に配置し、見やすさに工夫がある。 ◇具体的な活動の写真や絵によって、意欲を持たせたり、気づきを促したりする工夫をしている。 ◇活動の端緒や追求過程を大事に考えた単元の展開
その他	◇学校の様子の中に、車椅子を使用している児童の絵、町の様子の中に車椅子や白杖を使用している人の絵がある。 ◇「人にやさしい町」のページで手話や、スロープ等を紹介している。

別表2

項目	26 信教
(1) ア	◇身近の自立に関わること、動植物の観察や飼育、身近な人々や地域、交通安全、公共の施設や交通機関の利用、保健健康、道具の適切な使用の仕方、まとめること・伝えること・発表など。
(2) イ	◇季節の変化と関わりのある地域行事、地域に根差した人、もの等とのかかわりや触れ合い、交流を通して学びを深めていく。
ウ	◇子どもが活動している絵や写真、子どもの言葉（吹き出し）、植物や生き物の写真を使用し、興味関心を高めている。
エ	◇子どもや先生等のキャラクターが学習活動への思いをつぶやき（吹き出し）、見通しを持たせたり、アドバイスや気づきを促したりしている。
その他	◇二次元コードからアクセスして、あおぞら・そよかぜずかんを見ることができ、単元の内容に合わせ、植物や生き物の写真、活動の様子や製作物の写真が掲載されている。

項目	26 信教
(1) ア	◇絵と写真をページの大部分に掲載。
(2) イ	◇挿絵や写真には説明等が添えられている。 ◇季節ごとに町の様子の絵が折込式で2ページずつ掲載
ウ	◇大きな文字を使用。分ち書きで文字間隔が広め。
エ	◇具体的な活動の写真には、説明の言葉や気づきを促す言葉が添えられている。

別表4

項目	26 信教
(1) ア	◇印刷は多色刷り
イ	◇必要な情報がより多くの人に伝わるよう、カラーユニバーサルデザインに配慮している。
(2) ウ	◇絵や文字が多めに使われている。
エ	◇大きな文字を使用。分ち書きで文字間隔が広め。 ◇一部の漢字にふりがながふってある。
オ	◇表紙の硬さは適度である。 ◇再生紙と植物油インキを使用 ◇A4判

別表1

項目	38 光村
(1) ア	◇写真・挿絵を中心に使用できる。
イ	◇写真・挿絵を中心に使用できる。
ウ	◇使用できる。
エ	◇使用できる。
(2) イ	◇上巻は校内での「集団での行動の仕方」「遊びや生活の工夫」「理科的内容（自然・生き物など）」などにかかわることについて、具体的な活動と結び付けて、季節ごとや単元ごとに記載 ◇下巻は身近な地域に活動の場を広げ、「社会での行動の仕方」「理科的内容（自然・生き物など）」「社会的内容」などにかかわることについて、具体的な活動と結び付けて、季節ごとや単元ごとに記載 ◇巻の終わりに「ジャンプ大しゅうごう」のページがあり、各単元のまとめを一目で確認できる工夫がある。 ◇写真や挿絵をページの大部分に配置し、見やすさに工夫がある。 ◇具体的な活動の写真やキャラクターの挿絵によって、意欲を持たせたり、気づきを促したりする工夫をしている。 ◇学習内容が1・2・3の3つの段階で構成されており、発展的になるよう設定している。
その他	◇学校の様子の中に、車椅子を使用している児童の絵、町の様子の中に車椅子を使用している人の絵がある。

別表2

項目	38 光村
(1) ア	◇身近の自立に関わること、動植物の観察や飼育、身近な人々や地域、交通安全、公共の施設や交通機関の利用、保健健康、道具の適切な使用の仕方、まとめること・伝えること・発表など。
(2) イ	◇子どもが活動している絵や写真、子どもの言葉（吹き出し）、植物や生き物の写真を使用し、興味・関心を高めている。
ウ	◇活動している写真や絵の子どもが学習活動への思いをつぶやき（吹き出し）、見通しを持たせたり、アドバイスや気づきを促したりしている。
その他	◇巻末の「ひろがるせいかつてん」に具体的な活動の方法や要点を掲載。 ◇二次元コードを読み取って使用する資料が用意されている。

別表3

項目	38 光村
(1) ア	◇絵と写真をページの大部分に掲載
(2) イ	◇写真は全体的なものばかりでなく、学習内容に沿って部分的な使用をしている。 ◇具体的な活動の写真には、説明の言葉や気づきを促す言葉が添えられている。
ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用
エ	◇考え方や大切な部分に注目できるようにキャラクターが掲載されている。 ◇具体的な活動の写真には、説明書きや気づきを促す言葉が添えられている。

別表4

項目	38 光村
(1) ア	◇印刷は多色刷り
イ	◇カラーユニバーサルデザイン、特別支援教育の観点より専門家による校閲を実施。
(2) ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用 ◇児童の学習負担の軽減のため、本文には書き文字と差異の生じない書体を使用。 ◇大きな文字を使用するとともに、分ち書きされている。漢字に一部かながふってある。
エ	◇表紙の硬さは適度である。 ◇環境に配慮した紙と植物油インキを使用 ◇A4判

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (生活)

別表1

項目	61 啓林館
(1) A	◇写真・挿絵を中心に使用できる。
ア B	◇写真・挿絵を中心に使用できる。
C	◇使用できる。
D	◇使用できる。
(2) イ	◇上巻は学校探検から始まり、四季に沿って自然と触れ合ったり、遊んだりする体験的な内容で構成されている。 ◇下巻は、野菜の栽培、四季のくらし、町探検を中心に構成されている。 ◇ページの大部分に写真や挿絵を用いている。 ◇単元の流れが「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」で構成されている。 ◇めくり言葉で次の学習への思いや願いが高められるようにされている。
その他	◇学校の様子の中に車イスを使用している児童の絵、町の様子に車イスや介助犬を連れてた人、白杖を使用している人の挿絵がある。

別表2

項目	61 啓林館
(1) A	◇身辺の自立に関わること、動植物の観察や飼育、身近な人々や地域、交通安全、公共の施設や交通機関の利用、保健健康、道具の適切な使用の仕方、まとめること・伝えること・発表など。
(2) イ	◇学習内容が一目で分かる写真や挿絵で興味関心を高めている。
ウ	◇写真や挿絵の吹き出しから新たな疑問や活動のヒントが分かるようにされている。 ◇3つの図鑑があり、児童が自分の興味関心の応じて学びが進められる。
その他	◇二次元コードを読み取って使用する資料が豊富に用意されている。 ◇巻末には「がくしゅうずかん」が載せられており、生活や学習の基本がまとめられている。

別表3

項目	61 啓林館
(1) A	◇挿絵も写真も豊富に使用されている。
(2) イ	◇大部分が挿絵と写真で構成されているが、適宜吹き出しや解説が示されている。
ウ	◇ユニバーサルデザインフォントが使用されている。
エ	◇イラストや写真を用いて、活動内容や活動の流れが示されている。 ◇具体的な気付きを促す記述や説明の言葉が記されている。

別表4

項目	61 啓林館
(1) A	◇印刷は多色刷り
(2) イ	◇ユニバーサルデザインに配慮
(3) ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用
エ	◇大きな文字を使用するとともに、分かち書きされている。上巻は前半はひらがなのみ。後半からカタカナと1年生担当漢字をふりがな付きで用いている。下巻は上記に加え、2年生担当漢字をふりがな付きで用いている。
オ	◇表紙の硬さは適度である。 ◇再生紙と植物油インキ使用 ◇ABワイド判の判型が使用されている。

教科・種目名 音楽

項目		発行者名	
		17 教出	27 教芸
使用上の留意点	別表 1	<p>発達段階のめやすに照らして、[A] 段階の児童に部分的に、[B] [C] [D] 段階の児童に使用できる。</p> <p>1、2 年生では、体を使ったリズム遊びを多く取り入れている。</p> <p>1、2 年生は、折り込みページに楽器と演奏の仕方を掲載している。また、3 年生以上は、折り込みページに共通教材とそれに関連した写真や、音楽に関連する言葉や記号、リコーダーの運指表を掲載している。</p>	<p>発達段階のめやすに照らして、[A] 段階の児童に部分的に、[B] [C] [D] 段階の児童に使用できる。</p> <p>1、2 年生では、体を使ったリズム遊びを多く取り入れている。</p> <p>全学年折り込みページは活用せず、ほとんどの曲を見開きで掲載し、曲に関わる絵や写真、楽譜などを掲載している。また、リコーダーの運指表や学習の振り返りなどを掲載している。</p>
	別表 2	<p>各学年の巻頭に「学習マップ」を配置し、学年を通じた学習の見通しを示しながら、各題材で学習する内容を分かりやすく解説している。</p> <p>学習のめあてや教材曲、学習活動の即した児童への助言、解説があり、写真・図も児童の興味・関心を引き出す工夫がされている。</p> <p>二次元コードを読み取り、演奏と楽譜のアニメーションで旋律の動きをとらえられる動画を視聴できる。また、楽器の奏法や動物の鳴き声などを聴いたり、リコーダーの運指なども確認したりすることができる。</p>	<p>各学年の巻頭に概要を「学習マップ」を配置し、1 年間の学習の見通しをもてるようにしている。また、巻末には「ふり返りのページ」を設け、学習したことをいつでも確認できる。</p> <p>見開きのページに共通教材を掲載し、写真や楽譜、曲の説明などが一度に見られるようにしている。また、演奏されている楽器が大きな写真とともに紹介されている。</p> <p>ページ右上の二次元コードを読み取り、様々なコンテンツ(曲の紹介、楽器の名前や演奏の仕方、和音、管弦楽団の説明など)で動画を見たり、解説を読んだりすることができる。</p>
	別表 3・4	<p>学習のめあての重要な言葉を大きくしたり、文中の開業位置を調節したりするなど、細部まで配慮されている。</p> <p>色覚等への特性を踏まえた判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字を使用するなど配慮がされている。</p> <p>環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用している。</p> <p>表紙には、抗菌加工が施されている。</p>	<p>歌詞や文章を写真中に入れるときには、無地の部分に配置したり、背景を白くしたりすることで、読みやすさを確保している。</p> <p>用紙は軽さを追求しつつ破れにくいものになっており、白さや光沢感を調整し、児童の目への負担軽減にも配慮している。</p> <p>印刷は発色がよく鮮明で、再生可能な植物の油を素材としたインクを使用</p> <p>表紙には、抗菌加工が施されている。</p>
	備考		

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (音楽)

別表1

項目	17 教出
(1) ア	絵や写真、動画などを中心に使用できる。
イ	使用できる。
ウ	使用できる。
エ	使用できる。
(2) イ	<p>◇各題材の1ページ目に、ねらいを横文字で大きく掲載している。また、キーワードとなる言葉を色を変えて表示している。</p> <p>◇目次に鑑賞、共通教材、他のページとの関連などのマークを付け、該当するページにも同じマークを表示している。</p> <p>◇1、2年生では、体を使ったリズム遊びを多く取り扱っている。また、巻末の折り込みページには、学校でよく使われる楽器の演奏の仕方を掲載している。3年生以上には、音楽で使われる言葉や記号、リコーダーの運指表を掲載している。</p>
その他	

別表2

項目	17 教出
(1) ア	◇3年生以上の折り込みページでは、共通教材のイメージが広がるように3ページ分の写真を掲載している。また、4年生以上から実際に演奏している写真や伝統行事などの写真を多く用いている。
(2) イ	<p>◇1、2年生では、体を使ったリズム遊びがイメージしやすいように、絵と人物の写真とを合わせたように掲載している。また、リズムを図示するなどの視覚的な配慮をしている。3年生以上では、楽器や演奏場面、日本の民謡などの写真を掲載しており、イメージ化を図っている。</p> <p>◇4年生以上の巻頭には、著名な歌手、狂言師、ピアニストからのメッセージを掲載しており、音楽や日本の芸能などに興味、関心が湧くようになっている。</p>
ウ	<p>◇目次のページに二次元コードがついており、家庭でも手遊び歌や楽器演奏の仕方、作者のメッセージ、管弦楽団の紹介などを動画や説明文で見ることができるようになっている。</p> <p>◇リコーダーの運指や楽器の演奏法、歌唱での発生のポイント、様々な演奏形態等についてイラストや写真を用いて説明している。</p>
その他	

別表3

項目	17 教出
(1) ア	◇児童の主体性を生かす活動や歌詞の内容に忠実な写真、紙面内容の視認性など、児童が自ら学習に向かえるようにデザインされている。
(2) イ	◇発達段階に合わせて、楽譜の大きさや低学年用の図譜、使用する言葉等に配慮されている。
ウ	◇ユニバーサルフォントを使用
エ	◇楽譜や学習活動を表す文章は正確で、児童に理解しやすい表記になっている。
オ	◇二次元コードを読み取る「まなびリンク」で、作者からのメッセージや範唱の動画が視聴できたり、演奏と楽譜のアニメーションで旋律の動きをとらえる動画が視聴できたりする。

別表4

項目	17 教出
(1) ア	◇印刷は目にやさしく鮮明であり、写真や挿絵が適切に施されている。
(2) イ	◇色覚等への特性を踏まえた範読しやすい配色やレイアウト(カラーユニバーサルデザイン)になっている。
(3) ウ	◇ユニバーサルフォントを使用
エ	◇楽譜や文字は適度に大きく、また鮮明で読みやすく配慮されている。
オ	<p>◇表紙は堅牢で使いやすく、長期の使用に耐えられるものとなっていると記載</p> <p>◇軽量で丈夫な用紙を使っており、児童の身体的な負担を軽減するよう配慮されていると記載</p>

別表1

項目	27 教芸
(1) ア	絵や写真、動画などを中心に使用できる。
イ	使用できる。
ウ	使用できる。
エ	使用できる。
(2) イ	<p>◇各題材の始めのページに題材のねらいを具体的に示してまとまりを分かりやすくし、それぞれの学年の中で各題材が目立つように、キーカラーで色分けされている。</p> <p>◇目次に鑑賞、共通教材、他のページとの関連などのマークを付け、該当するページにも同じマークを表示している。</p> <p>◇1、2年生では、日本だけではなく、世界で行われているリズム遊びも取り扱っている。また、巻末のページには、学習の振り返りとして、音色、リズム、楽器の名称、記号、リコーダーの運指表を掲載している。</p>
その他	

別表2

項目	27 教芸
(1) ア	◇3年生以上の教科書では、特に楽器の演奏や曲のイメージが広がるような写真を多く掲載している。
(2) イ	<p>◇1、2年生では、体を使ったリズム遊びがイメージしやすいように、親しみやすい動物や人物の絵を掲載している。また、リズムを図示するなどの視覚的な配慮がされている。3年生以上では、楽器や演奏場面、日本の民謡などの写真を掲載しており、イメージしやすいように配慮されている。</p> <p>◇5、6年生の巻頭には、著名なスポーツ選手や歌舞伎役者のことを掲載しており、スポーツの中の音楽や日本芸能などに興味、関心が湧くようになっている。また、6年生では、音楽を作った人を見聞き2ページで紹介している。</p>
ウ	<p>◇巻頭に各学年の概要を「学習マップ」として示し、年間を通した学習の見通しが持てるようになっている。また、巻末には「ふり返りのページ」が設けてあり、学習したことをいつでも確認できるよう工夫されている。</p> <p>◇各学年の一部のページに二次元コードがついており、家庭でも曲の紹介や楽器の名前、演奏の仕方、和音、管弦楽団の説明などが動画や説明文で見ることができるようになっている。</p> <p>◇リコーダーの運指や楽器の演奏法、歌唱における発生のポイント、様々な演奏形態などについて、イラストや写真を用いて説明している。</p>
その他	

別表3

項目	27 教芸
(1) ア	◇イラストの色調を工夫したり、白を基調とするすっきりとしたデザインを採用していることが、視覚的な情報を一度にたくさん処理することが困難な児童に配慮されている。
(2) イ	◇文章や歌詞、楽譜などの近くにイラストや写真が配置される場合には、必要な情報に注目できるよう、シンブルなデザインになっている。
ウ	◇ユニバーサルフォントを使用
エ	◇楽譜や学習活動を表す文章は正確で、児童に理解しやすい表記になっている。
オ	◇ページ右上の二次元コードを読み取ることで、曲の紹介、楽器の名前や演奏の仕方、管弦楽団の説明を見ることができる。

別表4

項目	27 教芸
(1) ア	◇学習をサポートする写真やイラストを精選して配置し、学習内容をより見やすくするために、白を基調とした紙面デザインにして、教科書全体が統一されている。
(2) イ	◇見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用
(3) ウ	◇楽譜や文字の大きさなどは、児童の発達段階に応じて設定されており、見やすさや読みやすさについても配慮されている。
エ	◇用紙は経さを追求しつつ破れにくいものになっており、白さや光沢感を調整し、目への負担軽減にも配慮していると記載
オ	<p>◇製本はページ同士を接着した文庫で長持ちにする様式と記載</p> <p>◇表紙は優れた抗菌作用のある加工方式を施していると記載</p>

教科・種目名 図画工作

項目		発行者名	
		9 開隆堂	116 日文
使用上の留意点	別表1	<p>発達段階のめやすに照らして、[A]～[D]段階の児童に使用できる。</p> <p>活動の様子の写真や作品例を大きく取り上げ、興味や関心をもつ内容になっている。</p> <p>楽しい題材名と活動を促すリード文で児童の意欲を高めている。</p> <p>写真に番号が付けられている。</p>	<p>発達段階のめやすに照らして、[A]～[D]段階の児童に使用できる。</p> <p>活動の様子や作品例を大きく取り上げ、興味や関心をもつ内容になっている。</p> <p>文字の大きさを変えた拡大教科書や、文字の拡大や音声の読み上げなど特別な配慮を必要とする児童が活用できる機能を備えた学習者用デジタル教科書を制作予定と記載されている。</p>
	別表2	<p>身近な材料で作る題材を使用し、工夫しながら幅広く造形活動ができるように配慮している。</p> <p>育てたい資質・能力に沿った「学習のめあて」を各題材に明記されている。</p> <p>めあてに沿ったキャラクターが学習のポイントや造形的な見方・考え方を吹き出しでアドバイスや問いかけをしている。</p> <p>注意マークと注意事項など安全面への指導を表記している。</p> <p>各題材に二次元コードを掲載し、タブレット端末などで映像やワークシートなどのコンテンツを利用することができる。</p>	<p>低学年では身の回りにあるものから、中学年では身近な美術作品から、高学年では日本の伝統的な作品や諸外国の美術作品から紹介されている。</p> <p>「指導と評価の一体化」の実現に向けて、「学習のめあて」の3観点を5項目に細分化し、育てたい力をより明確化している。</p> <p>写真やイラスト付きで安全指導を掲載している。</p> <p>各題材に二次元コードを掲載し、タブレット端末などで全国の児童作品や解説動画のコンテンツを利用することができる。</p>
	別表3・4	<p>写真が大きく多く使用し、作品のイメージが持ちやすいようにしている。</p> <p>ユニバーサルデザインフォントを使用し、学年に応じて文字の大きさを変えてある。</p>	<p>好奇心を引き出すために、大きな活動写真を多く使用している。</p> <p>カラーユニバーサルデザインに配慮し、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>
備考			

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (図画工作)

別表1

項目	8 開隆堂
(1) A	◇使用できる。
ア B	◇使用できる。
イ C	◇使用できる。
エ D	◇使用できる。
(2) イ	◇見開きページである。 ◇「学習のめあて」を3人のキャラクターと言葉で表記している。 ◇使用する用具、材料を各題材名の上にイラストと文字で表記している。 ◇単元ごとにめあてとふりかえりを提示している。
その他	

別表2

項目	8 開隆堂
(1) ア	◇SDGSにかかわる内容も扱っている。 ◇地域の伝統文化や材料などを生かした造形活動を積極的に取り上げている。
(2) イ	◇すべてのページで写真や作品例を掲載している。 ◇活動の様子や作品の写真を大きく掲載している。
ウ	◇紙コップやわりばしなど身近な材料を使用している。 ◇キャラクターが学習のポイントや造形的な見方、考え方をアドバイスしている。
その他	

別表3

項目	8 開隆堂
(1) ア	◇色彩豊かで親しみやすい。
(2) イ	◇背景はいろいろな色を使っているが、吹き出しは白色を基調として文字を見やすくしている。 ◇写真の大きさや形を変えて見やすくしている。
ウ	◇低学年の上にはほとんど漢字が使われておらず、他の教科書も難しい漢字にはふりがなをつけている。 ◇全学年65ページ。
エ	◇工作の題材では、つくり方をイラストや写真で説明されている。 ◇真剣に取り組む写真や楽しそうな写真を大きく掲載されている。

別表4

項目	8 開隆堂
(1) ア	◇白紙度が高く、裏写りの少ない用紙が使われている。また作品のもつ微妙なニュアンスや質感が鮮やかに再現されている。
(2) イ	◇カラーユニバーサルデザインに配慮していると表記されている。
(3) ウ	◇ユニバーサルデザインフォントが使用されている。
エ	◇低学年と中学年で文字の大きさを変えている。
オ	◇サイズはA4判である。 ◇製本は堅ろうである。 ◇環境に配慮した用紙、植物性インキが使用されている。

別表1

項目	116 日文
(1) A	◇使用できる。
ア B	◇使用できる。
イ C	◇使用できる。
エ D	◇使用できる。
(2) イ	◇見開きページである。 ◇「学習のめあて」を3つのマークと言葉で表記している。 ◇使用する材料や道具を、ページ番号の横にイラストと文字で表記している。 ◇単元ごとにめあてとふりかえりを提示している。
その他	

別表2

項目	116 日文
(1) ア	◇巻末の「材料と用具の引き出し」では、材料や用具の使い方を説明している。 ◇各単元の「かたづけ」では、環境整備や生活習慣への配慮を意識させている。
(2) イ	◇「教科書美術館」で色や形、造形表現への興味・関心を引き出している。
ウ	◇ほとんどのページで活動写真や作品例の写真を掲載している。 ◇写真に吹き出しで気づきや作り方、工夫などを掲載している。
その他	

別表3

項目	116 日文
(1) ア	◇色彩豊かで親しみやすい。
(2) イ	◇作品や写真を見やすく、インパクトをもたせて掲載されている。
ウ	◇学年に合わせて文字の大きさが調整されている。 ◇難しい漢字にはふりがなをつけている。
エ	◇作品が大きく掲載され、活動写真が多く掲載されたレイアウトになっている。

別表4

項目	116 日文
(1) ア	◇用紙は良質コート紙が使用され、発色が鮮やかに印刷されている。
(2) イ	◇コントラストや文字の背景色などカラーユニバーサルデザインに配慮して編集されている。
(3) ウ	◇高学年では4ページ題材が設けられ、活動の課程や発想のヒントなどが示され、多様な作品が掲載されている。
エ	◇サイズはA4判である。 ◇製本は堅ろうである。また表紙はコーティングが施され、耐久性がある。

教科・種目名 家庭

項目		発行者名	
		2 東書	9 開隆堂
使用上の留意点	別表1	<p>発達段階のめやすに照らして、[C] [D] 段階の児童に使用できる。</p> <p>キャラクターが問いかけやアドバイスをし、児童に興味・関心を持たせ、思考の手助けをしている。また、写真やイラストを多く使い、実生活でも実践しやすいようにしている。</p> <p>調理、製作実習の手順は横流れで提示してあるため、全体の流れが一目で分かり、手順や作業内容の理解がスムーズにできるようになっている。さらに、手順や解説に写真やイラストを使用し、巻末資料「いつも確かめよう」には、手をのせて練習できる実寸大写真を掲載している。</p> <p>児童の手や体の巧緻性に配慮し、作業する手のアップや姿勢の写真などを豊富に掲載している。また、左ききの例も取り上げている。</p>	<p>発達段階のめやすに照らして、[C] [D] 段階の児童に使用できる。</p> <p>手順や解説に写真やイラストを使用し、興味・関心が持て、分かりやすいように工夫している。また、キャラクターが問いかけやアドバイスをし、児童に興味・関心を持たせやすい。</p> <p>調理、製作実習の手順は横流れで提示してあるため、全体の流れが見やすくなっている。手順や作業内容の理解がスムーズにできるようになっている。さらに、巻末に実物大の資料が提示してあり、大きさの感覚がつかみやすくなっている。</p> <p>「利き手はどちら？」の資料を掲載し、左利き児童へも実習・製作時に対応できるようになっている。また、動画コンテンツには、左利きで行う場合の動画も収録されている。</p>
	別表2	<p>すべての大題材の導入に、タイトル、導入発問、学習の流れ(ステップ1～3のタイトルを並べて示す)を示し、学習の見通しが立てやすいよう工夫している。</p> <p>目次ページに二次元コードがついており、調理実習や製作実習の基礎的な技能、住まい方の工夫などを動画で見ることができるようになっている。</p> <p>実習や生活実践に必要な基礎的な技能や地域の気温や郷土料理、食品のグループ分けなどを巻末にまとめることで確認しやすくし、安全についても配慮できるようにしている。</p>	<p>単元ごとに学習の進め方を「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の3段階に分けて、めあてを設定し、振り返りができるようにしている。</p> <p>見開きページの右上に二次元コードがついており、調理・製作実習の基礎技能や実習手順の動画コンテンツが収録されている。</p> <p>実習や生活実践に必要な基礎的な技能や地域の伝統文化、食品のグループ分けなどを巻末にまとめることで確認しやすくし、安全についても配慮できるようにしている。</p>
	別表3・4	<p>目次を見開きページとし、2年間の学習内容が一目で分かるようになっている。</p> <p>罫線や背景色により、本文と資料部分が明確に区別できるようにしている。また、右ページには大題材ごとのマークをインデックスにしている。</p> <p>ユニバーサルデザインフォントと、教科書体の特徴を合わせ持つ、独自に開発したUD教科書体を採用している。</p> <p>色のみによって区別する問題や表現を避け、黄、赤などの文字を付すなどの配慮もされている。</p>	<p>目次を見開きページとし、2年間の学習内容が一目で分かるようになっている。</p> <p>全体を通して見やすい配色になっている。また、色が見にくい箇所には白い線をつけるなど見やすくする工夫がされている。</p> <p>ユニバーサルデザインフォントや見やすい色使いの他、教科書の仕組みや掲載資料が工夫されている。</p> <p>1つの単語が行をまたがないように調整してあるので、文の意味をとらえやすい。</p>
備考			

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (家庭)

別表1

項目	2 東書
(1) A	
B	
C	◇使用できる
D	◇使用できる
(2) イ	◇実習・製作が横流れに掲載されており、作業の手順が明確である。 ◇すべての大題材の導入に、タイトル、導入発問、学習の流れ(ステップ1～3のタイトルを並べて示す)を示し、学習の見通しが立てやすいよう工夫している。
その他	

別表2

項目	2 東書
(1)	◇実習や生活実践に必要な基礎的スキル、地域の気候や郷土料理、食品のグループ分けなどを「いつも確かめよう」のコーナーを巻末にまとめている。また、安全に実習する際の留意点を掲載している。
(2) ア	◇右利き用、左利き用の写真を掲載している。 ◇「生活を変えるチャンス」を設定し、家庭での実践例を紹介している。
イ	◇初めての練習が安心して安全に行えるように、巻末資料「いつも確かめよう」には、手をのせて練習できる実寸大写真を掲載している。
ウ	◇児童の学習を導くキャラクター(イエティとトリート)が吹き出しで学習のポイントを示唆することで、学習内容がより深く理解できる工夫がされている。
その他	

別表3

項目	2 東書
(1) ア	◇児童の手や体の巧緻性に配慮し、作業する手のアップや姿勢の写真などが掲載している。また、左ききの例も取り上げている。
(2) イ	◇本文・イラスト・写真・図表の配分は適切で、かつ関連を持たせて構成している。 ◇関連のある題材や資料がほかのページにある場合には、「リンクマーク」で適宜参照ページを示している。
ウ	◇多くの人が見やすく読み間違えにくいデザインの文字を使用。
エ	◇Webコンテンツにつながる二次元コードは、紙面見開きの右ページ上部に固定して配置。

別表4

項目	2 東書
(1) ア	◇本文と資料部分が明確に区別できるように、罫線を使う、背景に色を付けるなどの工夫をしている。
(2) イ	◇目的とするページを見つけやすくするため、右ページには大題材ごとのマークをインデックスにしている。
(3) ウ	◇色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて工夫している。また、色のみによって区別する問題や表現を避け、黄、赤などの文字を付すなどの配慮もされている。
エ	◇独自に開発したUD教科書体を採用している。
オ	◇判型はA4判を用い、一つの練習を見開きで見ながら実習できるレイアウトになっている。 ◇表紙には、汚れにくく、防水効果、強度の高い加工(PP加工)を施し、強力な接着剤を用いて製本していると記載。

別表1

項目	9 開隆堂
(1) A	
B	
C	◇使用できる
D	◇使用できる
(2) イ	◇実習・製作が横流れに掲載されており、作業の手順が明確である。 ◇単元ごとに学習の進め方を「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の3段階に分け、それぞれにめあてを設定し、振り返りができるようにしている。
その他	

別表2

項目	9 開隆堂
(1)	◇「利き手はどちら?」の資料を掲載し、左利き児童へも実習・製作時に対応できるようになっている。また、動画コンテンツには、左利きで行う場合の動画も収録されている。
(2) ア	◇実物大の資料が提示してあり、大きさの感覚がつかみやすくなっている。
イ	◇すべての題材の導入にタイトル、見方・考え方、学習のめあて、マイめあて、ステップ1～3を示し、学習の見通しが立てやすいようになっている。
ウ	◇等身大の小学生キャラクターや学びに寄り添うキャラクターが描かれ、学習への興味・関心を抱かせる工夫がされている。
その他	

別表3

項目	9 開隆堂
(1) ア	◇調理や政策の写真は、児童の目線と同じになるように工夫されている。
(2) イ	◇題材の最初のページには大きな写真やイラスト等があり、題材の見通しをもてるようになっている。
ウ	◇ユニバーサルフォントを使用。
エ	◇Webコンテンツにつながる二次元コードは、紙面見開きの右ページ上部に固定して配置。

別表4

項目	9 開隆堂
(1) ア	◇印刷は鮮明で、カラー効果が生かされている。
(2) イ	◇本文以外の資料等には困ったり色を付けるなどして区別できるように工夫がされている。
(3) ウ	◇カラーバリアフリーの観点から、弱視の児童にも読み取りやすい配慮化されている。
エ	◇ユニバーサルフォントを使用し、どの児童にも見やすく読みやすい文字となっている。
オ	◇サイズはA4判 ◇製本は堅牢で、表紙には水に強い加工が施され、長期の使用に耐えうるものとなっていると記載。

教科・種目名 保健

項目	発行者名		
	2 東書	4 大日本	50 大修館
使用上の留意点	<p>[C] [D] 段階の児童に部分的に使用できる。</p> <p>マーク矢印、枠囲い、により読み取りやすくしている。</p> <p>解説にはグラフやイラストや写真が用いられており視覚的に分かりやすくなっている。</p>	<p>発達段階のめやすに照らして、[C] [D] 段階の児童に、部分的に使用できる。</p> <p>巻頭に学習の進め方を掲載している。また、「おりこみカード」が付いている。</p>	<p>発達段階のめやすに照らして、[C] [D] 段階の児童に、部分的に使用できる。</p> <p>巻頭に学習の進め方を掲載している。</p>
	<p>各章は色分けされて示され、項目ごとに「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」が段階的に示されている。項目のまとめにはそれぞれ「資料」が掲載されている。</p>	<p>各章の項毎に、「見つける」「考えるやってみる」「まとめる」「広げる深める」の項目がある。各章末に「もっと知りたい!」「まとめ」を掲載している。</p> <p>健康な生活を送るためのことや、新進の発達や病気のことを、写真、イラスト、グラフなどを使い、理解しやすいように工夫している。</p>	<p>各章の項毎に、3つのステップ（ステップ①（「課題をつかもう」）ステップ②（「話し合おう」「考えよう」「調べよう」）ステップ③（「まとめ」））があり、項末に「資料」を掲載している項もある。</p> <p>健康な生活を送るためのことや、心身の発達や病気のことを、写真、イラスト、グラフなどを使い、理解しやすいように工夫している。</p>

発行者名		
207 文教社	208 光文	224 学研
<p>発達段階のめやすに照らして、[C] [D] 段階の児童に、部分的に使用できる。</p> <p>巻頭に学習の進め方を掲載している。</p>	<p>発達段階のめやすに照らして、[C] [D] 段階の児童に、部分的に使用できる。</p> <p>巻頭に学習の進め方を掲載している。</p>	<p>発達段階のめやすに照らして、[C] [D] 段階の児童に、部分的に使用できる。</p> <p>巻頭に学習の進め方を掲載している。</p>
<p>各章の項毎に、「学習のめあて」「Mission（キーワード）」「Mission（もう一歩先の自分へこの時間のまとめ）」を掲載している。発展の内容として、「Episode」を掲載している。</p> <p>健康な生活を送るためのことや、心身の発達や病気のことを、写真、イラスト、グラフなどを使い、理解しやすいように工夫している。</p>	<p>各章の項毎に、「見つけよう」「学習の課題」「調べよう」「考えよう」「話し合おう」「生かそう」の項目がある。項末に「広げよう深めよう」を掲載している項もある。各章末に「学習のまとめ」を掲載している。</p> <p>健康な生活を送るためのことや、心身の発達や病気のことを、写真、イラスト、グラフなどを使い、理解しやすいように工夫している。</p>	<p>各章の項毎に、学習の進め方を、1（ふり返る、くらべる、予想する等）、2（話し合う、理由を説明する等）、3（学びを生かす）の3つを掲載している。各章末に「学習のまとめ」を掲載している。</p> <p>健康な生活を送るためのことや、新進の発達や病気のことを、写真、イラスト、グラフなどを使い、理解しやすいように工夫している。</p>

教科・種目名 保健

項目	発行者名		
	2 東書	4 大日本	50 大修館
使用上の留意点	<p>各章のはじめに内容に関連した写真やイラストを掲載され学習への興味関心を高める工夫がされている。</p> <p>健康な生活や体の変化、けがや病気の予防、安全と衛生、喫煙や飲酒の影響、薬物乱用、生活習慣病やがん、事故や犯罪防止について説明している</p> <p>キャラクターが登場し学習のアドバイスをし、気づきや理解を促す。</p> <p>二次元コードからいろいろなコンテンツにアクセスできる。</p> <p>教科書に分かったことや気づいたこと考えを書き込めるようになっている。</p>	<p>各章の最初に、見開きで内容に関連したイラストや写真を掲載している。</p> <p>健康な生活や体の発育・発達、心の健康、けがの防止、病気の予防について説明している。</p> <p>キャラクターが登場して、学習課題に対する気づきや考えを深める投げかけを会話形式で表現している。</p> <p>各項毎に二次元コードが掲載され、いろいろなコンテンツを見ることができる。</p>	<p>各章の表紙に、著名人の写真と各章の内容に関する質問・回答を掲載している。</p> <p>健康な生活や、体の成長、心の健康、怪我の防止、病気の予防について説明している。</p> <p>キャラクターが登場して、学習課題に対する気づきや考えを深める投げかけを会話形式で表現している。</p> <p>各項毎に二次元コードが掲載され、いろいろなコンテンツを見ることができる。</p>
	<p>印刷は鮮明で、文字の大きさやフォントも見やすい。</p> <p>レイアウトは整理されている。</p> <p>漢字には適切にふりがなをふっている。</p>	<p>印刷は鮮明で見やすい。</p> <p>項目、使用目的により、フォントを変更している。難しい文字にはふりがなをふっている。</p>	<p>印刷は鮮明で見やすい。</p> <p>項目、使用目的により、フォントを変更している。難しい文字にはふりがなをふっている。</p>
備考			

発行者名		
207 文教社	208 光文	224 学研
<p>各章の最初に、見開きで内容に関連したイラストや写真を掲載している。</p> <p>毎日の生活と健康、体の発育・発達、心の健康、けがの防止、病気の予防について説明している。</p> <p>キャラクターが登場して、学習課題に対する気づきや考えを深める投げかけを会話形式で表現している。</p> <p>各項毎に二次元コードが掲載され、いろいろなコンテンツを見ることができる。</p> <p>印刷は鮮明で見やすい。</p> <p>項目、使用目的により、フォントを変更している。難しい文字にはふりがなをふっている。</p>	<p>巻頭に、著名人の写真と保健に関連した自己紹介の文章を掲載している。</p> <p>また、各章の表紙に、内容に関する問題提起を4コマ漫画形式で掲載している。</p> <p>健康な生活、体の発育と健康、心の健康、けがの防止、病気の予防について説明している。</p> <p>キャラクターが登場して、学習課題に対する気づきや考えを深める投げかけを会話形式で表現している。</p> <p>目次のページに二次元コードが掲載され、いろいろなコンテンツを見ることができる。</p> <p>印刷は鮮明で見やすい。</p> <p>項目、使用目的により、フォントを変更している。難しい文字にはふりがなをふっている。</p>	<p>巻頭に、スポーツ選手や子どもが活動する写真、健康に関しての問いかけを掲載している</p> <p>また、各項の最初に、内容に関連したイラストや写真を掲載している。</p> <p>健康な生活、体の発育・発達、心の健康、けがの防止、病気の予防について説明している。</p> <p>キャラクターが登場して、学習課題に対する気づきや考えを深める投げかけを会話形式で表現している。</p> <p>各項毎に二次元コードが掲載され、いろいろなコンテンツを見ることができる。</p> <p>印刷は鮮明で見やすい。</p> <p>項目、使用目的により、フォントを変更している。難しい文字にはふりがなをふっている。</p>

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (保健)

別表1

項目	2 東書
(1) ア	<p>A</p> <p>B</p> <p>C ◇写真やイラスト、図表などの資料を中心に部分的に使用できる。</p> <p>D ◇写真やイラスト、図表などの資料を中心に部分的に使用できる。</p>
(2) イ	<p>◇項目ごとに「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」を掲載。</p> <p>◇各項目の最後に発展的に「資料」を掲載。</p>
その他	

別表2

項目	2 東書
(1) ア	◇健康な生活に必要なこと、病気の予防や衛生管理、安全への意識などについて、写真、イラスト、表、グラフで説明。
(2) イ	◇各項目のはじめに、『学習の課題』を提示され、合わせて興味関心を引くようテーマに沿った写真が掲載されている。
ウ	◇気づきや理解を促すキャラクターを登場させている。
その他	◇Webコンテンツへつながる二次元コードを掲載。

別表3

項目	2 東書
(1) ア	◇写真やイラスト(全ページカラー)を使用。
(2) イ	◇説明と合わせて写真やイラスト、表やグラフが添えられている。
ウ	◇フォントは認識しやすく簡潔な説明文である。
エ	◇写真やイラスト、資料は分かりやすく規則性をもって配されている。

別表4

項目	2 東書
(1) ア	◇印刷は鮮明で見やすい、色覚特性に配慮したデザイン。
(2) イ	◇3・4年 45ページ 5・6年 77ページ
(3) ウ	◇難しい漢字によみがな、ユニバーサルデザインフォント使用している。
エ	◇軽量の紙を使用しつつ、表面は一定の厚みのあるコーティングされた用紙をつかってある
オ	◇堅ろう、A4判。

別表1

項目	4 大日本
(1) ア	<p>A</p> <p>B</p> <p>C 大きな写真、イラストを中心に使用できる。</p> <p>D イラストや写真、図表を中心に使用できる。</p>
(2) イ	<p>◇各章の項毎に学習課題が設定されており、各項、「見つける」「考えるやってみる」「まとめる」「広げる深める」の順番で掲載。</p> <p>◇各章末に「まとめ」を掲載。</p> <p>◇学習内容を分かりやすいマークで分類。</p> <p>◇発展的内容を「もっと知りたい!」として掲載。</p>
その他	

別表2

項目	4 大日本
(1) ア	◇健康な生活を維持するために必要なことや、病気の予防等について、グラフ、写真、表、イラストで説明。
(2) イ	◇「広げる深める」、各章のまとめにより実生活につなげることができる。
ウ	◇各章の初めに学習課題、学習内容が記載。
エ	◇実生活に関する写真や絵の使用。
オ	◇学習を導くキャラクターを登場させている。
カ	◇各ページの下部に関連する内容の「ミニちしき」が掲載されている。
その他	<p>◇Webコンテンツを見るための二次元コードを掲載。</p> <p>◇「おりこみカード」が付いている。</p>

別表3

項目	4 大日本
(1) ア	◇登場するキャラクターが表情豊かに掲載。
(2) イ	◇落ち着いた配色。
ウ	◇発展的内容については、文字の量が多く掲載。
エ	◇ユニバーサルデザインフォントフォントを使用している。
オ	◇短い文で端的に説明されている。

別表4

項目	4 大日本
(1) ア	◇印刷は鮮明で見やすい。
(2) イ	◇吹き出しやタイトルバーの背景色に合わせて文字色を変えている。
(3) ウ	◇3・4年 45ページ 5・6年 69ページ
エ	◇写真、イラストの近くに解説。
オ	<p>◇環境に採領した神と植物油インキを使用。</p> <p>◇表紙は丈夫で汚れにくくなるよう加工し、光触媒を利用した抗菌・抗ウイルス処理されている。</p> <p>◇堅ろう、A4判。</p>

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (保健)

別表1

項目	50 大修館
(1) ア	<p>A</p> <p>B</p> <p>C 大きな写真、イラストを中心に使用できる。</p> <p>D イラストや写真、図表を中心に使用できる。</p>
(2) イ	<p>◇各章の項毎に3つのステップ(ステップ①「課題をつかもう」ステップ②「話し合おう」「考えよう」「調べよう」ステップ③「まとめ」の順番で掲載。</p> <p>◇各項目末に「資料」を掲載。</p> <p>◇学習内容を分かりやすいマークで分類。</p> <p>◇発展的内容を資料「もっと学びを広げよう! 深めよう!」として掲載。</p>
その他	

別表2

項目	50 大修館
(1) ア	<p>◇健康な生活を維持するために必要なことや、病気の予防等について、グラフ、写真、表、イラストで説明。</p>
(2) イ	<p>◇ステップ③、各章のまとめにより実生活につなげることができる。</p> <p>◇各章の表紙に、著名人の写真と各章の内容に関する質問・回答を掲載。</p> <p>◇各章の初めに学習課題、学習内容が記載。</p> <p>◇実生活に関する写真や絵の使用。</p>
ウ	<p>◇学習を導くキャラクターを登場させている。</p> <p>◇各ページの下部に関連する内容の「豆知識」が掲載されている。</p>
その他	◇Webコンテンツを見るための二次元コードを掲載。

別表3

項目	50 大修館
(1) ア	<p>◇登場するキャラクターが表情豊かに掲載。</p> <p>◇落ち着いた配色。</p>
(2) イ	◇ステップ毎に、挿絵と文字の配分を変えている。
ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。
エ	◇短い文で端的に説明されている。

別表4

項目	50 大修館
(1) ア	◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。
イ	◇吹き出しやタイトルバーの背景色に合わせて文字色を変えている。
(2) ウ	◇3・4年 49ページ 5・6年 73ページ
(3) エ	◇写真、イラストの近くに解説。
オ	<p>◇環境に配慮した紙と植物油インキを使用。</p> <p>◇軽量で筆記特性(書きやすさ)に優れた用紙を使用。</p> <p>◇堅ろう。</p> <p>◇A4判。</p>

別表1

項目	207 文教社
(1) ア	<p>A</p> <p>B</p> <p>C 大きな写真、イラストを中心に使用できる。</p> <p>D イラストや写真、図表を中心に使用できる。</p>
(2) イ	<p>◇各章の項毎に「学習のめあて」「Mission(キーワード)」「Mission(もう一歩先の自分へ この時間のまとめ)」の順番で掲載。</p> <p>◇各章の初めに、見開きで内容に関連した写真やイラストともに各項目のタイトルを掲載。</p> <p>◇次の学習、時間へのヒントとして「Clear」「ちよっとまった!」「Complete」を掲載。</p> <p>◇学習したことをもとに、もっと深く考える内容を「もっと考えよう課」として掲載。</p>
その他	

別表2

項目	207 文教社
(1) ア	<p>◇健康な生活を維持するために必要なことや、病気の予防等について、グラフ、写真、表、イラストで説明。</p>
(2) イ	<p>◇学習に関連する内容を「Episode」として掲載。</p> <p>◇各章の初めに学習課題、学習内容が記載。</p> <p>◇実生活に関する写真や絵の使用。</p>
ウ	<p>◇学習を導くキャラクターを登場させている。</p> <p>◇各ページの下部に「つぶやきくん」というキャラクターが登場し、豆知識や児童へのメッセージをつぶやいている。</p>
その他	◇Webコンテンツを見るための二次元コードを掲載。

別表3

項目	207 文教社
(1) ア	<p>◇登場するキャラクターが表情豊かに掲載。</p> <p>◇落ち着いた配色。</p>
(2) イ	◇学習内容は、同じ程度のスペースで掲載。
ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。
エ	◇短い文で端的に説明されている。

別表4

項目	207 文教社
(1) ア	◇カラーバリエーションを含むユニバーサルデザインに配慮している。
イ	◇吹き出しやタイトルバーの背景色に合わせて文字色を変えている。
(2) ウ	◇3・4年 37ページ 5・6年 83ページ
(3) エ	◇写真、イラストの近くに解説。
オ	<p>◇森林認証紙、環境に配慮したインキを採用。</p> <p>◇堅ろう。</p> <p>◇A4判。</p>

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (保健)

別表1

項目	208 光文
(1) ア	A
	B
	C 大きな写真、イラストを中心に使用できる。
	D イラストや写真、図表を中心に使用できる。
(2) イ	◇各章の項毎に、1 自分の生活をふり返る(「見つけよう」)、2 学習の課題をつかむ(「学習の課題」)、3 課題解決に向けて学習活動をする(「調べよう」「考えよう」「話し合おう」)、4 学習をまとめる、5 自分の生活に生かす(「学んだことを生かそう」)の順番で掲載。 特別支援が必要な児童に配慮した内容や構成。
その他	

別表2

項目	208 光文
(1) ア	◇健康な生活を維持するために必要なことや、病気の予防等について、グラフ、写真、表、イラストで説明。
(2) イ	◇「広げよう深めよう」により、実生活につなげることができる。 ◇巻頭に、著名人の写真と保健に関連した自己紹介の文章を掲載しておく。 ◇各章の表紙に、内容に関する問題提起を4コマ漫画形式で掲載。 ◇実生活に関する写真や絵の使用。
ウ	◇学習を導くキャラクターを登場させている。 ◇各ページの下部に関連する内容の「まめちしき」が掲載されている。
その他	◇Webコンテンツを見るための二次元コードを掲載。

別表3

項目	208 光文
(1) ア	◇登場するキャラクターが表情豊かに掲載。 ◇落ち着いた配色。
(2) イ	◇学習内容は、同じ程度のスペースで掲載。
ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。
エ	◇短い文で端的に説明されている。

別表4

項目	208 光文
(1) ア	◇印刷は鮮明で見やすい。
(2) イ	◇吹き出しやタイトルバーの背景色に合わせて文字色を変えている。 ◇3・4年 41ページ 5・6年 65ページ
(3) ウ	◇写真、イラストの近くに解説。
エ	◇環境に配慮した紙および植物油インキを採用。
オ	◇堅ろう。 ◇A4判。

別表1

項目	224 学研
(1) ア	A
	B
	C 大きな写真、イラストを中心に使用できる。
	D イラストや写真、図表を中心に使用できる。
(2) イ	◇各章の項毎に、学習を3つの手順(1「ふり返る」「くらべる」「予想する」等、2「話し合う」「理由を説明する等」、3「学びを生かす」)で進められるよう掲載。
その他	

別表2

項目	224 学研
(1) ア	◇健康な生活を維持するために必要なことや、病気の予防等について、グラフ、写真、表、イラストで説明。
(2) イ	◇「ほけんのはこ」により、実生活につなげることができる。 ◇巻頭に、スポーツ選手や子どもが活動する写真、健康に関しての問いかけを掲載している。 ◇各項目の初めに、内容に関連したイラストや写真を掲載。 ◇実生活に関する写真や絵の使用。
ウ	◇学習を導くキャラクターを登場させている。 ◇補足的な内容として「かがくの目」「つなぐ」「プチ」等を掲載している。
その他	◇Webコンテンツを見るための二次元コードを掲載。

別表3

項目	224 学研
(1) ア	◇登場するキャラクターが表情豊かに掲載。 ◇落ち着いた配色。
(2) イ	◇学習内容は、同じ程度のスペースで掲載。
ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。
エ	◇短い文で端的に説明されている。

別表4

項目	224 学研
(1) ア	◇印刷は鮮明で見やすい。
(2) イ	◇吹き出しやタイトルバーの背景色に合わせて文字色を変えている。 ◇3・4年 49ページ 5・6年 89ページ
(3) ウ	◇写真、イラストの近くに解説。
エ	◇環境に配慮した紙、植物油インキ、印刷方式を使用。
オ	◇書きやすさと見やすさに配慮した、軽量で上部な紙を開発し、使用。 ◇A4判。

教科・種目名 英語

項目	発行者名		
	2 東啓	9 開隆堂	15 三省堂
使用上の留意点	<p>別表1</p> <p>挿絵・写真が比較的に少ない教科書になっているので、発達段階に照らして、「A」「B」段階の子どもにはデジタル教科書の機能を使用して、例えば、拡大機能を使用して、図や写真の細部まで確認することも可能である。</p> <p>「C」「D」段階の子どもには、なぞり書きをする時、運筆が分かりやすいように、矢印で書き順が示されている。</p> <p>チャンツや歌も活用して、基本文への導入がなされている。</p>	<p>発達段階の目安に照らして、「A」「B」段階の子どもには写真、挿絵を活用し、リスニング、スピーキングを中心に学習を進めることができる。「C」「D」段階の子どもには、アルファベットから英単語、英文を、なぞり書き、模写から学習を進めることができる。</p> <p>ライティングについては、5学年ははじめから、なぞり書き、部分的に英語を記入する設定となっている。</p>	<p>発達段階の目安に照らして、「A」「B」段階の児童には写真、挿絵を活用し、リスニング、スピーキングを中心に学習を進めることができる。「C」「D」段階の子どもには、アルファベットから英単語、英文と、なぞり書き、模写から学習を進めることができる。</p> <p>英文書体はできるだけ一筆書きになるような指導がなされている。</p> <p>見る、聞く、話す、書くの学習から読む活動、コミュニケーション活動へと導くことができるよう設定されている。</p>
	<p>別表2</p> <p>映像視聴、リスニングでしっかりと英単語、英文を定着させ、書くこと、自己表現につなげることを目指している。</p> <p>キャラクターの吹き出しは各最終 Lesson の「Your Goal」でのみ使用している。写真や挿絵を見ながら会話の使用場面をイメージしやすいようにしている。</p> <p>他の教科とリンクして、日本や地域、世界に目を向けるような内容、写真等も掲載している。</p> <p>巻頭に学習を進めていく上での、学習内容の順序が大項目（日本語）と各 Unit の目標文（英語）が記載されている。</p>	<p>子どもの身の回りの物に加え、世界に目を向けるような内容、写真等も掲載している。</p> <p>日本の各地や世界に目を向けるような内容、写真、英語のお話、歌も設定している。</p> <p>巻頭の目次に各 Unit の目標文（英語）が記載されている。また「この教科書の構成と使い方」が記載している。</p> <p>巻頭に学習を進めていく上での、学習内容の順序が各 Lesson の目標となる英文で示され、各 Lesson の Goal（目標）は4段階で示されている。（日本語）</p>	<p>色彩は鮮やかなページと色の薄いページがあり、登場人物とその他の区別を表している。</p> <p>吹き出しを有効に使用し、英文を活用する場面をイメージしやすいようにしている。</p> <p>子どもの身の回りの物や、英語で表現したいと思いきう内容の挿絵から、世界に目を向けるような内容、写真等も掲載している。</p> <p>巻頭の目次に、各 Unit の目標（日本語）と Lesson ごとのキーセンテンスで学習内容が示されている。</p>

発行者名		
17 教出	38 光村	61 啓林館
<p>発達段階の目安に照らして、「A」「B」段階の子どもには写真、挿絵を活用し、リスニング、スピーキングを中心に学習を進めることができる。「C」段階の子どもには、6学年と英文のなぞり書き、模写のページを中心に使用できる。</p> <p>各 Lesson が映像、リスニング、アクティビティを中心とした学習から、自己表現、友達とのコミュニケーションへとつなげている。</p> <p>5学年のアルファベットを書くページでは書き順が記されている。</p>	<p>発達段階の目安に照らして、「A」「B」段階の児童には写真、挿絵を活用し、リスニング、スピーキングを中心に学習を進めることができる。「C」「D」段階の子どもには、アルファベットから英単語、英文と、なぞり書き、模写と順に学習を進めることができる。</p> <p>場面における会話の聞き取りとアルファベットや英単語、英文に自然な形で親しむことができるような学習が教科書を使ってできるよう設定されている。</p>	<p>発達段階の目安に照らして、「A」「B」段階の子どもには写真、挿絵を活用し、リスニング、スピーキングを中心に学習を進めることができる。「C」「D」段階の子どもには、なぞり書き、模写と順にライティングの学習を進めることができる。</p> <p>なぞり書きをする時、運筆がわかりやすいように、矢印で書き順が示されている。</p> <p>Jingle やチャンツも活用して、基本文への導入がなされている。</p> <p>英単語、英文を書くページでは、罫線の幅に配慮している。</p>
<p>明瞭でわかりやすい挿絵を多く使用している。</p> <p>キャラクターの吹き出しで、会話を例示し、会話の使用場面をイメージしやすいようにしている。</p> <p>子どもが英語で表現したいと思いきう内容を表す挿絵や写真に加え、日本各地や世界に目を向けるような内容、写真等も掲載している。</p> <p>巻頭に学習を進めていく上での、学習内容の順序が日本語とイラストで記載されている。目次に各 Lesson の目標文（英語）が記載されている。</p>	<p>明瞭でわかりやすい挿絵を多く使用し、英単語や英文のイメージや内容を視覚的、映像的に理解しやすいようにしている。</p> <p>吹き出しを使用し、英文を活用する場面をイメージしやすいようにしている。</p> <p>子どもの身の回りの物や、英語で表現したいと思いきう内容の挿絵から、世界に目を向けるような内容、写真等も掲載している。</p> <p>巻頭の目次に各 Unit の目標文（英語）が記載されている。また「この教科書の構成と使い方」が記載されている。</p>	<p>キャラクターの吹き出しは各 Unit の「Your Goal」でのみ使用している。写真や挿絵を見ながら会話の使用場面をイメージしやすいようにしている。</p> <p>子どもの身の回りの物や、英語で表現したいと思いきう内容の挿絵から、他の教科とリンクして、日本や地域、世界に目を向けるような内容、写真等も掲載している。</p> <p>巻頭に学習を進めていく上での、学習内容の順序が Unit のタイトルとして目標となる表現で示されている。</p>

項目		発 行 者 名		
		2 東書	9 開隆堂	15 三省堂
	別表3・4	表紙は外国へ向かって出発し、楽しく過ごしているような内容のイラストとなっている。英語学習と外国への興味を高める工夫をしている。	表紙は明るく、子どもたちのイラストが描かれた絵本のような体裁になっており、楽しい英語が始まる期待感を高める工夫をしている。	表紙は明るく、子どもたちのイラストが描かれた絵本のような体裁になっており、世界に羽ばたく、楽しい英語が始まる期待感を高める工夫をしている。
	備考			

発 行 者 名		
17 教出	38 光村	61 啓林館
表紙は明るく、子どもたちのイラストが描かれた絵本のような体裁になっており、楽しい英語学習が始まる期待感を高める工夫をしている。	表紙は明るく、子どもたちのイラストが描かれた絵本のような体裁になっており、楽しい英語が始まる期待感を高める工夫をしている。	表紙は子どもたちのイラストが描かれており、シンブルな構成となっている。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (英語)

別表1

項目	2 東書
(1) A	映像・写真・挿絵を中心に使用できる。
(1) B	映像・写真・挿絵を中心に使用できる。
(1) C	5学年用を中心に使用できる。
(1) D	5学年、および6学年用を中心に使用できる。
(2) イ	<p>◇なぞり書きをする時、運筆がわかりやすいように、矢印で書き順が示されている。</p> <p>◇5学年のアルファベットを書くページでは書き順が記されている。</p> <p>◇小文字を書くページでは書きやすいように、基線の幅を配慮している。</p> <p>◇各Lesson、映像視聴、リスニング、スピーキング、コミュニケーション、文化理解、ライティング、発表と盛りださんの内容になっている。チャンツや歌を活用して、基本文への導入もなされている。</p> <p>◇別冊で「My Picture Dictionary」があるので、「D」段階の児童のライティング、スピーキングの自己表現に活用できる。</p> <p>◇別冊で「My Picture Dictionary」があるので、「D」段階の児童のライティング、スピーキングの自己表現に活用できる。</p> <p>◇インターネットを活用した学習ができる教材があり、二次元コードからアクセスして見ることができる。</p>
その他	<p>◇特別支援教育や色覚デザイン等に関する校閲を行なっている。</p> <p>◇デジタル教科書の機能あり。</p>

別表2

項目	2 東書
(1) A	<p>◇他教科とリンクした各Lessonテーマとなっている。</p> <p>◇5学年最初の「自分のことを伝え合おう」から6学年の終盤に向けて、地域のこと、日本のこと、世界の国や生活のことを伝え合おう等、興味を引く内容で視野を次第に広げて、考え、伝え合う内容となっている。</p>
(2) イ	<p>◇「Enjoy Communication」のページでは、友だち等とのコミュニケーションを通して、お互いのことを英語で伝え合う喜びを感じることができる。</p>
ウ	<p>◇巻末には活動用のシール、単語カードや、ワークブックのようなページ等があり、自分に関することを振り返ったり、考えたりする機会を得ることができる。</p> <p>◇別冊で「My Picture Dictionary」が付いており、自己表現の際に、単語や英文に使用することができる。(挿絵と英語がほとんどで日本語の表記はわずかである。)</p>
その他	<p>◇巻末のワークブック的なページは英語を使って、手作りの作品を作ることができる。</p> <p>◇インターネットを活用した学習ができる教材があり、二次元コードからアクセスして見ることができる。</p>

別表3

項目	2 東書
(1) A	◇写真、挿絵は比較的シンプルである。
(2) イ	<p>◇5年の初めから、挿絵、英文とともに日本語や英語(5年はなぞり書き)で書き込む分量が多いページがある。</p> <p>◇写真、挿絵の分量は(ページによるが)、1ページ半量程度のページが多い。</p>
ウ	◇字体、英文の長さは適切(5年…最長6単語程度)(6年…最長7単語程度)
エ	◇図表、写真等の資料は見やすくわかりやすい。

別表4

項目	2 東書
(1) A	◇各ページ、白色が主で、カラーのページも鮮明で見やすい。
(2) イ	◇色刷りは適切。
(3) ウ	◇文字や写真、挿絵の配置は適切。
エ	◇文字の大きさも適切。
オ	<p>◇巻末にアルファベット・単語カード等のページは厚めの用紙になっているが、取扱には問題なし。</p> <p>◇A4判</p>

別表1

項目	9 開隆堂
(1) A	写真・挿絵のページを中心に使用できる。
(1) B	写真・挿絵のページを中心に使用できる。
(1) C	5学年用を中心に使用できる。
(1) D	6学年用を中心に使用できる。
(2) イ	<p>◇各Lessonのタイトルが、そこで学ぶ新出表現として記載されている。</p> <p>◇各LessonのGoal(目標)が日本語で示されていて(それぞれ4段階)一つ一つクリアしながら次へと進めることができるように設定されている。</p> <p>◇各Lesson、8時間で完了できるよう、1～8に分けてページが構成されている。</p> <p>◇映像を観て考える、活動(Play・Try・Activity)、聞く、読む、書くの順に各パートのGoalをめざして進めることができるように設定されている。(活動の指示の多くが日本語で書かれている)</p> <p>◇ライティングの書き順の幅等、配慮がされている。</p> <p>◇書く練習では、なぞり書きや、部分的に記入をすることができるようにしている。</p> <p>◇吹き出しを使用し、英文を活用する場面をイメージしやすいようにしている。子どもの身の回りの物や、英語で表現したいと思いきう内容の挿絵を使用している。</p> <p>◇歌やチャンツで新出表現を身に付けるコーナーがある。</p> <p>◇インターネットを活用した学習ができる教材があり、二次元コードからアクセスして学習することができる。</p>
その他	<p>◇写真・挿絵が豊かに盛り込まれ、英語学習に親しみを持つことができるよう工夫されている。</p> <p>◇特別支援教育や学習のカラーユニバーサルデザイン等の校閲を行なっている。</p>

別表2

項目	9 開隆堂
(1) A	◇5学年最初の「友達のことをもっと知ろう」から6学年の終盤に向けて、「中学校でしたいことや頑張りたいことなどについて発表することができる」等、子ども自身の好きなことや経験から、日本の紹介、行きたいところや、将来の夢等を、考え、伝え合う内容となっている。
(2) イ	<p>◇巻頭にはこの教科書の主な登場人物を掲載。</p> <p>◇別冊「Word Book」で自己表現に活用できる英単語や表現を掲載。</p> <p>◇各Lessonの最後に世界に目を向けるような写真やお話を掲載。</p>
ウ	◇各時間の最後に、これまでの学習のまとめとして文章で記入する箇所が設定されている。
その他	

別表3

項目	9 開隆堂
(1) A	◇カラーの写真・挿絵を使用。色彩も鮮やかで効果的に使用されている。
(2) イ	◇各ページ写真、挿絵の分量が比較的多く、いろいろな箇所に目移りする可能性が考えられる。
ウ	◇効果的に写真、挿絵が使用されており、英単語や英文の使用場面がイメージしやすいよう設定されている。
エ	◇字体、英文の長さは適切(5年…最長6単語程度)(6年…最長7単語程度)
オ	◇図表、写真等の資料は見やすくわかりやすい。

別表4

項目	9 開隆堂
(1) A	◇各ページ、白色が主で、カラーのページも鮮明で見やすい。
(2) イ	◇色刷りは適切。
(3) ウ	◇文字や写真、挿絵の配置は適切。
エ	◇文字の大きさも適切。
オ	<p>◇各ページ写真、挿絵の分量が比較的多い。</p> <p>◇巻末にアルファベット・単語カード等は厚めの用紙になっているが、取扱には問題なし。</p> <p>◇A4判</p>

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (英語)

別表1

項目	15 三省堂
(1) A	映像・写真・挿絵を中心に使用できる。
(1) B	映像・写真・挿絵を中心に使用できる。
(1) C	5学年用を中心に使用できる。
(1) D	5学年、および6学年用を中心に使用できる。
(2) イ	<p>◇見る、聞く、話す、読む学習、コミュニケーション学習から書く学習へと導くことができるよう設定している。</p> <p>◇小文字を書くページでは書きやすいように、罫線の幅を配慮している。</p> <p>◇各Lesson、HOP、STEP、JUMPと進めることにより、各Lessonの大目標を達成できるように構成されている。</p> <p>◇別冊のMy Dictionaryで自己表現につながる、身の回りの物、ことを表すイラスト付きの英語表現が載っている。</p> <p>◇歌やチャンツで新出表現を身に付けるコーナーがある。</p> <p>◇インターネットを活用した学習ができる教材があり、二次元コードからアクセスして学習することができる。</p>
その他	<p>◇特別支援教育への適切な配慮がなされている。ユニバーサルデザイン書体を採用。</p> <p>◇デジタル教科書の機能あり。</p>

別表2

項目	15 三省堂
(1) A	「自己紹介」「あこがれの人の紹介」「おすすめの場所の紹介」から「地域のことを歌える」「思い出を伝える」「将来の夢を伝える」を5年から6年へと視野を広げて表現することを目指している。
(2) イ	<p>「Story Time」のコーナーではケンの冒険、世界のおはなしなど、英語の物語に触れることができる。</p> <p>「ABC Fun Box」のコーナーでは英語でクイズや歌等を楽しむことができる。「Hello World」のコーナーでは世界を知り、日本についての新たな発見をすること等ができる。</p>
ウ	自己を振り返り、考えたりしたことを英語で表現する学習設定となっている。
その他	巻末にローマ字表やアルファベットやレッスン用のカードあり。

別表3

項目	15 三省堂
(1) A	◇カラーの挿絵・写真を使用。
(2) イ	<p>◇挿絵と文字の配分は適切である。</p> <p>◇5年のはじめから英文のライティング(なぞり書き、一部分書きを含む)がある。</p>
ウ	◇字体、英文の長さは適切(5年…最長6単語程度)(6年…最長7単語程度)
エ	◇図表、写真等の資料は見やすく分かりやすい。

別表4

項目	15 三省堂
(1) A	◇色彩は鮮やかなページとややくすんだ雰囲気のあるページ(各Lessonの1ページ目等)がある。
(2) イ	登場人物とその他の区別のためかと思われる。
(3) ウ	◇文字や絵、図の配置は内容の分かりやすさにつながっている。
エ	◇文字の大きさについてはやや小さいと思われる。
オ	<p>◇A4判。</p> <p>◇巻末のアルファベットやレッスン用のページは厚めになっているが、取扱には問題なし。</p>

別表1

項目	17 教出
(1) A	写真・挿絵のページを中心に使用できる。
(1) B	写真・挿絵のページを中心に使用できる。
(1) C	5学年用を中心に使用できる。
(1) D	6学年用を中心に使用できる。
(2) イ	<p>◇各Lessonのタイトルが、そこで目録とするテーマ(英語表現)として記載されている。</p> <p>◇各Lessonが映像、リスニング、アクティビティを中心とした段階を通過する学習内容となっており、そこから、自己表現、友達とのコミュニケーションへとつながっている。</p> <p>◇5学年のアルファベットを書くページでは書き順が記されている。</p> <p>◇小文字を書くページでは罫線の幅を(2線と3線の間を広くする)配慮している。</p> <p>◇明確でわかりやすい挿絵を使用し、英単語や英文のイメージや内容を視覚的、映像的に理解しやすいようにしている。</p> <p>◇インターネットを活用した学習ができる教材があり、二次元コードからアクセスして見ることができる。</p> <p>◇デジタル教科書の機能あり。</p> <p>◇ライティングの罫線の幅等、特別支援教育への適切な配慮がなされている。</p>
その他	<p>◇写真・挿絵が豊かに盛り込まれ、英語学習に親しみを持つことができるよう工夫されている。</p> <p>英語を聞いて、絵を探すという使用も可能。</p> <p>◇特別支援教育や学習のユニバーサルデザイン等に関する校閲を行なっている。</p> <p>◇デジタル教科書の機能あり。</p>

別表2

項目	17 教出
(1) A	<p>◇挨拶、自己紹介、月日・曜日、一日の生活、「できること」「行きたいところ」「好きなもの」「おすすめの場所」を伝える、場所への行き方を伝える、人の紹介、日本の食べ物や文化を伝える、夏休みにしたことを伝える、世界ツアーのパンフレットを作る、思い出の学校行事を尋ね合う、将来の夢を伝える、中学校でしたいことを伝える、等の力の習得を目指す。</p> <p>◇巻末にMy Word Bankのページがあり、自分の使いたい英単語を知り、表現へとつなげられるようになっている。</p>
(2) イ	<p>◇巻頭にはイラストがふんだんに使用されていて、英語でどのように表現するか知っているものがあつたり、新たに学ぶことができる設定となっている。</p> <p>◇英語の絵本、英語の歌の学習ページがある。</p> <p>◇世界の子どもの学校生活や食べ物、名所などが記載されている。</p>
ウ	<p>◇巻末には活動用のシール、単語カードや、ワークブックのようなページ等があり、アクティビティや振り返りに使用できる。</p> <p>◇インターネットを活用した学習ができる教材があり、二次元コードからアクセスして学習することができる。</p>
その他	<p>◇巻末のワークブック的なページは英語を使って、手作りの作品を作ることができる。</p> <p>◇カラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザインフォントに配慮している。</p>

別表3

項目	17 教出
(1) A	◇各ページに色鮮やかなカラーの写真・挿絵を使用。挿絵は親しみやすいイラストが記載されている。
(2) イ	<p>◇会話の場面、場所等が分かりやすい挿絵となっている。</p> <p>◇文字より絵の配分が圧倒的に多い。</p> <p>◇日本語による指示等、簡潔である。</p>
ウ	<p>◇字体、文の長さは適切。(5年…最長5単語程度)(6年…最長7単語程度)</p> <p>◇不正確なところは見られず。</p>
エ	◇図表、写真等の資料は見やすくわかりやすい。

別表4

項目	17 教出
(1) A	◇各ページ、白色が主で、カラーのページも鮮明で見やすい。
(2) イ	◇色刷りは適切。
(3) ウ	<p>◇文字や写真、挿絵の配置は適切。</p> <p>◇英語の文字の大きさはやや小さく感じる。</p> <p>◇英語のなぞり書き用の文字は大きめになっている。</p>
エ	<p>◇英語の文字の大きさはやや小さく感じる。</p> <p>◇巻末の単語カード等のページは厚めの用紙になっているが、取扱には問題なし。</p> <p>◇A4判より縦の長さが短い。</p>

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (英語)

別表1

項目	38 光村
(1) A	写真・挿絵のページを中心に使用できる。
B	写真・挿絵のページを中心に使用できる。
C	5学年用を中心に使用できる。
D	6学年用を中心に使用できる。
(2) イ	<p>◇各Unitのタイトルが、そこで関連するテーマとして記載されている。</p> <p>◇各Unitが「Step1, Step2, Jump!」と段階を追ってそこで目標とするテーマ(英語表現)の定着を目指している。</p> <p>◇場面における会話の聞き取りとアルファベットや英単語、英文に自然な形で親しむことができるような学習教材が教科書を通じてできるよう設定されている。また、Jump!では英語を使用して話す、書くの自己表現を含んだアクティビティが設定されている。</p> <p>◇ライティングの要素の幅等、配慮がされている。</p> <p>◇明瞭でわかりやすい挿絵を多く使用し、英単語や英文のイメージや内容を視覚的、映像的に理解しやすいようにしている。</p> <p>◇吹き出しを使用し、英文を活用する場面をイメージしやすいようにしている。子どもの身の回りの物や、英語で表現したいと思いきう内容の挿絵から、世界に目を向けるような内容、写真等も掲載している。</p> <p>◇各Unit内で聞く学習とアルファベットや英単語、英文に親しむ学習が進められている。</p> <p>◇インターネットを活用した学習ができる教材があり、二次元コードからアクセスして学習することができる。</p>
その他	<p>◇写真・挿絵が豊かに盛り込まれ、英語学習に親しみを持つことができるよう工夫されている。</p> <p>◇特別支援教育や学習のユニバーサルデザイン等の校閲を行っている。</p>

別表2

項目	38 光村
(1) A	◇5学年最初の「自分のことを伝え合う」から6学年の終盤に向けて、「日本のこと、世界のことを伝え合う、将来のことを伝え合う」等、興味を引く内容で視野を次第に広げて、考え、伝え合う内容となっている。
(2) イ	<p>◇巻頭にはこの教科書の主な登場人物を掲載。</p> <p>◇巻頭に「この教科書の構成と使い方」を記載。</p> <p>◇巻末には「Picture Dictionary」で自己表現に活用できる英単語や英文を掲載。</p> <p>◇「世界の友達1・2・3」のページが各学年あり、異文化に触れる設定がされている。</p>
ウ	◇各Unitが完了するごとに、巻末の「All About Me」(自分のことをまとめたポスター的なもの)に書き込むことができる。
その他	

別表3

項目	38 光村
(1) A	◇カラーの写真・挿絵を使用。色彩も鮮やかで効果的に使用されている。
(2) イ	◇効果的に写真・挿絵が使用されており、英単語や英文の使用場面がイメージしやすいよう設定されている。
ウ	◇字体、英文の長さは適切(5年…最長5単語程度)(6年…最長7単語程度)
エ	◇図表、写真等の資料は見やすく分かりやすい。

別表4

項目	38 光村
(1) A	◇各ページ、白色が主で、カラーのページも鮮明で見やすい。
(2) イ	◇色刷りは適切。
(3) ウ	◇文字や写真、挿絵の配置は適切。
エ	◇文字の大きさも適切。
オ	<p>◇5学年について、巻末にアルファベット・単語カードは厚めの用紙になっているが、取扱に問題なし。</p> <p>◇A4判より、縦の長さが短い。</p>

別表1

項目	61 啓林館
(1) A	写真・挿絵のページを中心に使用できる。
B	写真・挿絵のページを中心に使用できる。
C	5学年用を中心に使用できる。
D	6学年用を中心に使用できる。
(2) イ	<p>◇各Unitのタイトルが、そこで学習する新出表現となっている。</p> <p>◇Unit1の前にPre Unitがあり、前学年の復習ができる。</p> <p>◇各Unitが「Step」ごとに「ことばを使う場面に出会う」「使いながら言葉に慣れる」「コミュニケーションを楽しむ」「振り返り」「世界に目を向ける」という一連の流れで構成されている。</p> <p>◇ライティングの要素の幅等、配慮がされている。</p> <p>◇明瞭でわかりやすい挿絵を多く使用し、英単語や英文のイメージや内容を視覚的、映像的に理解しやすいようにしている。</p> <p>◇アルファベットを書く練習のページでは、書始めの印(点)、筆順を番号と矢印を載せている。</p> <p>◇巻末にWord Listがあり、興味を持って英語表現につなげることができるようにしている。</p> <p>◇各Unit内で聞く学習とアルファベットや英単語、英文に親しむ学習が進められている。</p> <p>◇各UnitにJingleやChantsのページがあり、使いながら言葉に慣れることができるようになっている。</p> <p>◇インターネットを活用した学習ができる教材があり、二次元コードからアクセスして学習することができる。</p>
その他	◇特別支援教育等の校閲を行っている。

別表2

項目	61 啓林館
(1) A	◇5学年最初の「自分のことを伝え合う」から6学年の終盤に向けて、「日本のこと、将来の夢、中学校でしたいことを伝え合う」等、興味を引く内容で身近なことから少しずつ視野を次第に広げて、考え、伝え合う内容となっている。
(2) イ	<p>◇巻頭にはこの教科書の主な登場人物を掲載。</p> <p>◇巻頭に「この教科書の構成と使い方」を記載。</p> <p>◇巻末にみんなでできる英語のゲームが掲載されている。</p> <p>◇巻末にはヘボン式ローマ字表、アルファベット・英単語や表現・絵カード、「会話を楽しむフレーズ集」を掲載。</p> <p>◇各Unitの最後に、世界の文化や習慣、SDGsの取組などについて紹介している。</p>
ウ	◇自分のことや経験、したいことなどを考え、英語表現につなげる学習の進め方となっている。
その他	

別表3

項目	61 啓林館
(1) A	◇カラーの写真・挿絵を使用。色彩も鮮やかで効果的に使用されている。
(2) イ	◇効果的に写真・挿絵が使用されており、英単語や英文の使用場面がイメージしやすいよう設定されている。
ウ	◇字体、英文の長さは適切(5年…最長5単語程度)(6年…最長7単語程度)
エ	◇図表、写真等の資料は見やすく分かりやすい。

別表4

項目	61 啓林館
(1) A	◇各ページ、白色が主で、カラーのページも鮮明で見やすい。
(2) イ	◇色刷りは適切。
(3) ウ	◇文字や写真、挿絵の配置は適切。
エ	◇文字の大きさも適切。
オ	<p>◇巻末に付いている単語カード等は厚めの用紙になっているが、取扱に問題なし。</p> <p>◇A4判。</p>

教科・種目名 特別の教科 道徳

項目	発行者名		
	2 東書	17 教出	38 光村
使用上の留意点	<p>発達段階のめやすに照らして、[A]段階の児童には1学年用の挿絵のページを部分的に、[B]段階の児童には1学年用の挿絵や写真のページを部分的に、[C]段階の児童には1・2学年用を、[D]段階の児童には興味や関心に合わせて部分的に使用できる。</p> <p>教材の「考える」ポイントを、キャラクターを活用して二つずつ示している。</p> <p>二次元コードの付いている教材については、インターネットを経由して学習の助けとなるスライドやデジタルノート、朗読音源等を手に入れることができる。5分程度の動画が見られる教材も数点ある。</p>	<p>発達段階のめやすに照らして、[A]段階の児童には1学年用の挿絵のページを部分的に、[B]段階の児童には1学年用の挿絵や写真のページを部分的に、[C]段階の児童には1・2学年用を[D]段階の児童には興味や関心に合わせて部分的に使用できる。</p> <p>各教材の最後の「考えよう（かんがえよう）」には複数のポイントが示され特に考えてほしい一つに☆印がついている。</p>	<p>発達段階のめやすに照らして、[A]段階の児童には1学年用の挿絵のページを部分的に、[B]段階の児童には1学年用の挿絵や写真のページを部分的に、[C]段階の児童には1・2学年用を、[D]段階の児童には興味や関心に合わせて部分的に使用できる。</p> <p>各教材の最後に「考えよう・話し合おう」として問いが示されているが、特に大事に考えたい問い一つに二重丸が付いている。</p> <p>二次元コードの付いている教材については、インターネットを経由して学習の助けとなる資料や朗読音源等を手に入れることができる。</p>
	<p>各教材の「考える」ポイントの二つ目が、実生活へつなげることを促す問いとなっている。</p> <p>1学年の冒頭数教材の題名の下に「はじめに」の欄があり、学習を始める前に考えてほしいことを提示している。</p> <p>4・5・6学年の巻末には、切り取って使える「心情円」が付録し活用できる。</p>	<p>各教材の最後に「考えよう」「深めよう」「つなげよう」の項目でポイントが示されている。</p> <p>各教材にキャラクターが登場し導入段階で興味・関心を高めていたり、まとめてふり返りを促したりしている。</p> <p>各タイトルの下に学習に役立つ情報を二次元コードからウェブコンテンツにアクセスできるようになっている。</p>	<p>学習に入る前に考えてほしいことを問いかけるキャラクターと、学習したことと他の学習や生活の中で考えてほしいことをつなぐキャラクターが、児童にそれぞれ問いかける設定となっている。</p> <p>巻末に「学びの記録」が挿入され、1・2・3・4学年には『学びの記録シート』で、5・6学年は『一言感想』で学習の振り返りが容易にできる。</p> <p>考えるヒントとして「演じる」ことについて全学年で取り上げている。</p>

発行者名		
116 日文	208 光文	224 学研
<p>発達段階のめやすに照らして、[A]段階の児童には1学年用の挿絵のページを部分的に、[B]段階の児童には1学年用の挿絵や写真のページを部分的に、[C]段階の児童には1・2学年用を、[D]段階の児童には興味や関心に合わせて部分的に使用できる。</p> <p>「道徳の学び方」のページで、話し合ったり演じてみたり書いてみたりする方法を紹介している。</p> <p>全教材二次元コードからインターネットを経由し、学習の助けとなる資料や朗読音声等を手に入れることができる。</p>	<p>発達段階のめやすに照らして、[A]段階の児童には1学年用の挿絵のページを部分的に、[B]段階の児童には1学年用の挿絵や写真のページを部分的に、[C]段階の児童には1・2学年用を、[D]段階の児童には興味や関心に合わせて部分的に使用できる。</p> <p>重点主題については、複数の教材を連続して学べるようにしている。</p> <p>動物のイラストが各教材の文末に並び、児童の思考を支援している。</p>	<p>発達段階のめやすに照らして、[A]段階の児童には1学年用の挿絵のページを部分的に、[B]段階の児童には1学年用の挿絵や写真のページを部分的に、[C]段階の児童には1・2学年用を、[D]段階の児童には興味や関心に合わせて部分的に使用できる。</p> <p>重点主題については、複数の教材を連続して学べるようにしている。</p> <p>道徳の学び方のうち「考える」場面では、話し合ったりやってみたり書いてみたりする方法を紹介している。</p> <p>考えたことを書き込める欄を設けている教材が複数ある。</p>
<p>教材文の最後に、これから自分に生かしていきたいことを問う「見つめよう生かそう」が示されている。</p> <p>各教材に動物キャラクターが登場し、導入段階で学習への興味関心を高める問いかけをしている。</p> <p>4人の子ども達のキャラクターが、教材の最後の「考えよう」「見つめよう生かそう」に登場し、学習を促している。</p>	<p>巻頭の「道徳の時間」の説明の中で、実生活へ広げる工夫を「授業が終わっても」「いろいろな場所へ」として説明している。</p> <p>各教材文において、導入段階の問いをリード文で示している。</p> <p>学習をまとめるポイントや、学んだことを実生活へつなげる工夫を、教材文の最後に示している。</p>	<p>最後に「深めよう」のページを設けている教材が複数あり、実生活へつなげるための問いがある。</p> <p>巻頭に「自分のことを書いてみよう」のページがあり、自分の良さを確かめるところから一年間の道徳の学習が始められるように工夫されている。</p>

		発行者名		
		2 東書	17 教出	38 光村
別 表 3 ・ 4		カラーユニバーサルデザイン・植物性インキを使用している。 ユニバーサルフォントを採用している。	カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ユニバーサルデザインフォントを使用している。 難しい漢字にふりがなをふっている。	カラーユニバーサルデザイン・植物性インキを使用している。 児童の学習負担を軽減するよう書き文字と差異の生じない書体を使用している。また、目次や吹き出しには、ユニバーサルデザイン書体を使用している。
	備考			

発行者名		
116 日文	208 光文	224 学研
カラーユニバーサルデザイン・植物性インキを使用している。 ユニバーサルデザインフォントを採用している。 『道徳ノート』が添付されている。	カラーユニバーサルデザイン・植物性インキを使用している。 専門家の指導のもと、特別支援が必要な児童に配慮した内容や構成にしている。	カラーユニバーサルデザイン・植物性インキを使用している。 ユニバーサルデザインに配慮して製作している。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (特別の教科 道徳)

別表1

項目	2 東書
(1) A	◇1学年用の挿絵のページを部分的に使用できる。
ア B	◇1学年用の挿絵や写真のページを部分的に使用できる。
C	◇1・2学年用を使用できる。
D	◇児童の興味や関心に合わせて部分的に使用できる。
(2) イ	◇「安心安全」「情報モラル」「いじめ」について「いのち」について「じぶん」について」の5点が学習の重点箇所であることを、目次のページに印を付けたリアンダーラインを引いて強調している。 ◇これから一年間で学ぶ内容項目を、目次の次の見開きページで、内容を端的に表す印を使いながら分類して示している。各教材の右上にも示している。 ◇道徳の学習の進め方をイラストを活用しながら図で示している。 ◇二次元コードからアクセスして音声やスライド、ワークシートや動画などを活用して学習ができる。 ◇各教材の「考えるポイント」をキャラクターを活用して二つずつ示している。
その他	

別表2

項目	2 東書
(1) A	◇1学年は巻末に、道徳の学習で考えたことを実生活における具体的な場面に当てはめるページがある。
(2) イ	◇各教材の「考えるポイント」の二つ目が、実生活へつなげることを促す問いとなっている。 ◇年度当初の導入のページがあり、道徳の学習の具体的な進め方を、イラストや挿絵を活用しながら図で示している。
ウ	◇二次元コードを読みとるデジタルコンテンツに対応し、学習に興味・関心を抱かせるようにしている。
その他	

別表3

項目	2 東書
(1) A	◇写真や挿絵(全ページカラー)を豊富に使用している。
(2) イ	◇見開き1ページが、文字だけにならないよう、挿絵がバランスよく配分されている。
ウ	◇本文は各学年で統一したフォントや字体の大きさを揃えている。
エ	◇理解を促す写真や挿絵等が適切に使用されている。

別表4

項目	2 東書
(1) A	◇全ての児童の色覚特性に適應するようにデザインしている。
(2) イ	
(3) ウ	◇見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。
エ	
オ	◇再生紙・植物油インキを使用している。

別表1

項目	17 教出
(1) A	◇1学年用の挿絵のページを部分的に使用できる
ア B	◇1学年用の挿絵や写真のページを部分的に使用できる
C	◇1・2学年用を使用できる。
D	◇児童の興味や関心に合わせて部分的に使用できる。
(2) イ	◇各教材の末尾に「考えよう」「深めよう」「つなげよう」と教材のポイントが示されている。また、「しっかり考えられた」「新しく気づいたことがあった」「大切にしたいことがわかった」とセルフチェックする欄が設けられている。 ◇巻頭で1年間で教材について学ぶ内容と項目を端的に分類し一覧で表している、各教材の右上にも表示されている。 ◇巻末には切り取って使用できる振り返り用のワークシートが付属している。
その他	

別表2

項目	17 教出
(1) A	◇「深めよう」と「つなげよう」では、自分ことや自分の周りのことと関連させて考えるよう促している。
(2) イ	◇巻頭に学習内容や学習の進め方について説明されている。また各教材の導入にはキャラクターが登場し教材のポイントを端的に示している。
ウ	◇気づきや理解を促すキャラクターを登場させている。 ◇「学びリンク」という二次元コードをタブレット型端末で読み取って教材の解説や資料へアクセスできる。
その他	

別表3

項目	17 教出
(1) A	◇写真や挿絵(全ページカラー)を豊富に使用している。
(2) イ	◇見開き1ページが、文字だけにならないよう、挿絵がバランスよく配分されている。
ウ	◇本文は各学年で統一したフォントや字体の大きさを揃えている。
エ	◇理解を促す写真や挿絵等が適切に使用されている。

別表4

項目	17 教出
(1) A	◇色覚特性に配慮したカラーユニバーサルデザインに配慮している。
(2) イ	
(3) ウ	◇小学校で習わない漢字にふりがなをふっている。
エ	◇ユニバーサルデザインフォント使用している。
オ	◇軽量な紙を使用しつつ、表面は一定の厚みのあるコーティングされた用紙をつかってあり堅ろうである、ページ送りもスムーズである。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (特別の教科 道徳)

別表1

項目	38 光村
(1) ア	◇1学年用の挿絵のページを部分的に使用できる。
イ	◇1学年用の挿絵や写真のページを部分的に使用できる。
ウ	◇1・2学年用を使用できる。
エ	◇児童の興味や関心に合わせて部分的に使用できる。
(2) イ	◇1・2・3・4学年は「たくさん考えることができた」「友達の話をよく聞くことができた」「もっと考えたい、やってみたいことが見つかった」の観点で、5・6学年は文章で記入する「学びの記録」のページが、各学年の巻末のページに挿入されている。 ◇学習の重点箇所を、1・2学年は「いじめを許さない心」「情報と向き合う」に、3～6学年ではこの2点に加えて「自然と共に」「共に生きる」にして、複数の教材を連続して、またコラムも活用して学べるようにしている。 ◇演じて考えることについて、コラムで取り上げている。 ◇一年間で学ぶ内容項目を「目次」の次のページで、内容を端的に表す印や挿絵を使いながら分類して示している。各教材の右上にも示している。 ◇各教材の最後に「考えよう・話し合おう」として、考えたい問いを示している。特に大事に考えたい問いについては、◎を付けている。 ◇二次元コードの付いている教材については、インターネットを経由して学習の助けとなる資料や、朗読音源等を手に入れることができる。
その他	

別表2

項目	38 光村
(1) ア	◇2学年以上には各教材の最後に「つなげよう」として、他の学習や生活の中で考えてほしいことが示されている。
(2) イ	◇年度当初の導入のページがあり、道徳科の学習の具体的な進め方を、挿絵や図を使って説明している。
ウ	◇学習に入る前に考えてほしいことを問かけるキャラクターと、学習したことと他の学習や生活の中で考えてほしいことをつなぐキャラクターが、児童にそれぞれ問かける設定となっている。 ◇教材に付けられている二次元コードについて、目次等で児童に使い方の説明をすることで、学習に興味関心を抱かせるようにしている。
その他	

別表3

項目	38 光村
(1) ア	◇挿絵や写真を豊富に使用している。
(2) イ	◇図表などを多く使用し、文字の配分が多くならないよう工夫している。
ウ	◇本文は各学年で統一したフォントや字体の大きさを揃えている。
エ	◇コマ漫画など、理解を促す資料を使用している。

別表4

項目	38 光村
(1) ア	◇カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮している。
(2) イ	◇児童の学習負担を軽減するよう、本文には書き文字と差異の生じない書体を使用している。
(3) エ	◇目次や吹き出し等には、見やすい、読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用している。
オ	◇環境に配慮した紙、植物油インキを使用している。

別表1

項目	116 日文
(1) ア	◇1学年用の挿絵のページを部分的に使用できる。
イ	◇1学年用の挿絵や写真のページを部分的に使用できる。
ウ	◇1・2学年用を使用できる。
エ	◇児童の興味や関心に合わせて部分的に使用できる。
(2) イ	◇「安全な暮らし」「人との関わり(いじめをなくすために)」「情報モラル」が学習の重点箇所であることを、目次のページに印を付けて強調している。 ◇これから一年間で学ぶ内容項目を、目次の次の見開きページ「道徳のとびら」で、内容を端的に表す印を使いながら分類して示している。各教材の右上にも示している。 ◇道徳の学び方を「道徳のとびら」の次のページに示し、「考える・深める」場面では、話し合ったり動いたり書いたりする方法を紹介している。 ◇添付されている「道徳ノート」の各教材のページに、「しっかり考えたか」「新しく気づいたことがあったか」「これから大切にしたいことがあったか」の3観点で学習をふり返ることができる欄がある。 ◇教材文では、題名の次のリード文の中であらすじや登場人物を示すことで、教材内容を捉えやすくしている。
その他	

別表2

項目	116 日文
(1) ア	◇教材文の最後に、これからの自分に生かしていきたいことを問う「見つめよう生かそう」が示されている。
(2) イ	◇各教材にキャラクターが登場して、導入段階で学習への興味関心を高める問いかけをしている。
ウ	◇全教材二次元コードを読みとるデジタルコンテンツに対応し、学習に興味・関心を抱かせるようにしている。
その他	

別表3

項目	116 日文
(1) ア	◇挿絵や写真を豊富に使用している。
(2) イ	◇図表などを多く使用し、文字の配分が多くならないよう工夫している。
ウ	◇本文は各学年で統一したフォントや字体の大きさを揃えている。
エ	◇理解を促す写真や挿絵等が適切に使用されている。

別表4

項目	116 日文
(1) ア	◇より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している。
(2) イ	◇見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用している。
ウ	◇植物油インキと再生紙を使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) (特別の教科 道徳)

別表1

項目	208 光文
(1) ア	◇1学年用の挿絵のページを部分的に使用できる。
イ	◇1学年用の挿絵や写真のページを部分的に使用できる。
ウ	◇1・2学年用を使用できる。
エ	◇児童の興味や関心に合わせて部分的に使用できる。
(2) イ	◇「いじめを生まない心」「命をかがやかせる」が重点箇所であることを、目次のページに印を付けて示している。 ◇重点主題教材は、複数の教材を続けて学習するようにしている。目次にアンダーラインを引いて強調し、各教材の右上にも印を付けて示している。 ◇道徳の学習の進め方を、4種類の内容項目を示した次のページで示し、「考える」場面では、自分の体験と重ねたりやってみたり話し合ったりする方法を紹介している。 ◇巻末に、学習の記録を短文で書く「学びの足あと」のページがある。 ◇教材文では、リード文で導入段階の問いを示し、教材内容を捉えやすくしている。 ◇学習をまとめるポイントを、教材文の最後に示している。
その他	

別表1

項目	224 学研
(1) ア	◇1学年用の挿絵のページを部分的に使用できる。
イ	◇1学年用の挿絵や写真のページを部分的に使用できる。
ウ	◇1・2学年用を使用できる。
エ	◇児童の興味や関心に合わせて部分的に使用できる。
(2) イ	◇「いのち」を重点箇所として、複数の教材を続けて学習するようにしている。目次にアンダーラインを引いて強調している。 ◇情報モラルに関する教材についても重点箇所として、各教材の上に印を付けている。 ◇これから一年間で学ぶ内容項目を目次の次のページで、内容を端的に表す印を使いながら分類して示している。各教材の右上にも言葉と印で示している。 ◇道徳の学び方を本文に入る前のページ「道徳の学習が始まるよ」で示し、「考える」場面では、話し合ったりやってみたり書いてみたりする方法を紹介している。 ◇各教材の「考えるポイント」を、二つずつ示している。 ◇考えたことを書き込める欄を設けている教材が複数ある。
その他	

別表2

項目	208 光文
(1) ア	◇巻頭の「道徳の時間」の紹介の中で、実生活へ広げる工夫を「授業の中で」「授業が終わっても」「いろいろな場所へ」として説明している。
(2) イ	◇学んだことを実生活へつなげる工夫を、教材文の最後に示している。
ウ	◇教材文では、題名の前のリード文に導入段階での問いを示している。
エ	◇教材に付けられている二次元コードについて、目次等で児童に使い方の説明をすることで、学習に興味関心を抱かせるようにしている。
その他	

別表2

項目	224 学研
(1) ア	◇教材の後に「深めよう」のページを設けているものが複数あり、実生活へつなげる視点が多く示されている。
(2) イ	◇巻頭に「自分のことを書いてみよう」のページがあり、自分の良さを確かめるところから一年間の道徳の学習が始められるように工夫されている。
ウ	◇インターネットを活用した学習ができる教材について、目次のページに説明と二次元コードを掲載し、学習に興味関心を抱かせるようにしている。
その他	

別表3

項目	208 光文
(1) ア	◇挿絵や写真を豊富に使用している。
(2) イ	◇図表などを多く使用し、文字の配分が多くなりすぎないよう工夫している。
ウ	◇本文は各学年で統一したフォントや字体の大きさを揃えている。
エ	◇理解を促す写真や挿絵等が適切に使用されている。

別表3

項目	224 学研
(1) ア	◇写真や挿絵(全ページカラー)を豊富に使用している。
(2) イ	◇ページ全面に写真や挿絵を使用しているページもある。
ウ	◇本文は各学年で統一したフォントや字体の大きさを揃えている。
エ	◇コマ漫画や全面写真など、理解を促す資料を使用している。

別表4

項目	208 光文
(1) ア	◇ユニバーサルデザインに配慮し、カラーバリアフリーを含む対応をしている。
(2) イ	◇見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用している。
(3) ウ	◇環境に配慮した紙および植物油インキを使用している。
エ	
オ	

別表4

項目	224 学研
(1) ア	◇カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮している。
(2) イ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。
(3) ウ	◇環境に配慮した紙、インキ、印刷方式を使用している。
エ	
オ	